#### 目次 膵臓癌・胆嚢癌 GEM単独療法 GC(GEM+CDDP)療法 S-1単独療法 GEM+nab-PTX療法 FOLFIRINOX療法 食道癌 **FP療法** DTX単独療法 Nivolumab単独療法 胃癌 S-1<u>単独療法</u> S-1+DTX療法 weekly PTX療法 CPT11単独療法 Trastuzumab単独療法 SOX療法 Ramucirumab+PTX療法 XP療法 SOX/HER療法 Ramucirumab療法 Nivolumab単独療法 Ramcirumab+weekly nab-PTX療法 S-1+CDDP療法 weekly nab-PTX療法 大腸癌 mFOLFOX6療法 mFOLFOX6+Bev療法 mFOLFOX6+Pmab療法 <u>FOLFIRI療法</u> FOLFIRI+Bev療法 FOLFIRI+Rmab療法 Pmab単独療法 <u>Capecitabine単独療法</u> <u>CAPOX(Capecitabine + L-OHP)療法</u> S-1単独療法 SOX-Bev療法 CPT11+Pmab療法 <u>CPT11+Bev療法</u> \_\_\_\_\_ TAS102(ロンサーフ)単独療法 TAS102(ロンサーフ)+Bev療法 Regorafenib単独療法 消化間質腫瘍 **GIST** 小細胞肺癌

CBDCA+ETP療法 CDDP+ETP療法 CPT-11+CDDP療法 Atezolizumab + CBDCA + ETP療法(IMpower133) CPT-11単独療法 NGT単独療法

#### 非小細胞肺癌

Alectinib単独療法

Afatinib単独療法

Osimertinib単独療法

Gefitinib単独療法

Erlotinib+Ramucirumab療法

Durvalumab単独療法

Atezolizumab単独療法

Nivolumab単独療法

Pembrolizumab単独療法

Pembrolizumab単独療法

DTX単独療法

GEM単独療法

nab-PTX単独療法

Pemetrexed単独療法

S-1単独療法

<u>VNR単独療法</u>

CDDP+PEM療法

Ramucirumab+DTX療法

IMpower150

CDDP+PEM+Pembro療法

CBDCA+PEM+Pembro療法

CBDCA+PTX+Pembro療法

Atezolizumab+CBDCA+ETP療法

Atezolizumab+CBDCA+PEM療法

CDDP+GEM+Pembro療法

CDDP+VNR療法

#### 乳癌

CMF(CPA+MTX+5FU)療法

FEC(5FU+EPI+CPA)療法

DTX単独療法

weekly PTX单独療法

weeklyPTX+Trastuzumab療法

VNR単独療法

EC(EPI+CPA)療法

S-1単独療法

GEM単独療法 NEW

Capecitabine 単独療法

Lapatinib+Capecitabine単独療法

Palbociclib+Fulvestrant療法

<u>Abemaciclib+Fulvestrant療法</u>

Fulvestrant療法

Trastuzumab単独療法

Trastuzumab単独療法

weekly nab-PTX単独療法

weeklyPTX+Trastuzumab療法

#### 悪性リンパ腫

CHOP療法

#### 関節リウマチ

レミケード療法

<u>ヒュミラ療法</u> オレンシア(点滴静注)療法</u>

オレンシア(皮下注)療法

エンブレル療法

(エタネルセプト)

シンポニー療法

クンボー 塚仏 ケブザラ療法 シムシア療法 アクテムラ療法

Atezolizumab+CBDCA+PEM療法

Atezolizumap+OBDO バリシチニブ療法 ペフィシチニブ療法 ウパダシチニブ療法 ナノゾラ療法

#### GEM単独療法

<対象疾患>切除不能進行膵癌、術後化学療法

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法							投与ス	<b>殳与スケジュール</b>					
		(大子里)	点滴時間	1	•	•	8	•	•	15	•	•	28			
	グラニセトロン静注液3mg	100mL	点滴静注	_			_									
	デキサート注射液3.3mg	2A	30分	<b>→</b>			1			•						
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	_			_									
٧	ゲムシタビン(GEM)	1000mg/m2	30分	<b>→</b>			1			<b>→</b>						
3	生理食塩液	50mL	全開	_			_			_						
3			flash用	<b>→</b>			1			<b>→</b>						
	内服制吐剤	☑必要なし □	]必要あり									•	•			
	その他前投薬	☑不要 □必要														
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する														
	備考															

#### <投与期間>

- 4週間で1クール
- 3週投薬1週休薬(最終投与日の14日後に次クール開始可能)

#### <備考欄>

- ・ ゲムシタビンの投与時間は60分以上になると毒性が増強する可能性があるため、30分で投薬する。
- 減量基準

血液学的毒性: Grade1-2→ 減量なし Grade3-4→ 1000mg/m2を800mg/m2に変更 悪心嘔吐: Grade1-2→ 減量なし Grade3-4→ 1000mg/m2を800mg/m2に変更 血清クレアチニン値: 基準量の1.5-2倍以上 1000mg/m2→800mg/m2に変更 非血液学的毒性(食欲不振、疲労、脱毛を除く)

grade1 → 減量なし Grade2-4:1000→800mg/m2に減量

#### GC(GEM+CDDP)療法

#### <対象疾患>切除不能胆道癌

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						;	投与ス	スケジ	ュール			
	<b>采</b> 則石	<b>投</b> 子里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	15	16	17	21		
(1)	パロノセトロン点滴静注0.75mg	50mL	点滴静注	_			_								
	デキサート注3.3mg	2A	30分	<b>→</b>			<b>→</b>								
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	1			1								
	ゲムシタビン(GEM)	1000mg/m2	30分	<b>→</b>			<b>→</b>								
	ソルデム3A輸液	500mL	点滴静注	_			_								
	硫酸Mg無止液ImEq/mL	0.4A	60分	<b>→</b>			<b>→</b>								
	生理食塩液	500mL	点滴静注	_			_								
4	シスプラチン注	25mg/m2	120分	<b>→</b>			<b>→</b>								
<b>⑤</b>	生理食塩液	500mL	点滴静注 60分	1			<b>↓</b>								
		☑必要													
	内服制吐剤	☑アプレピタン	<u> </u>	Day	ر1 <del>ل</del> ا	:4)3	日	間)	2回目	以降	は適宜	1			
		☑デキサメタゾン錠(8mg/日をDay2より3日間)													
	その他前投薬	☑必要なし、□必要あり													
	経口抗がん剤併用薬	□不要、□必要													
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する													
	備考														

#### <投与期間>

3週間で1クール

#### <備考欄>

· day8投与可否基準

WBC>2000, Plt>70,000, AST/ALT<5

減量基準・GEM

白血球数、好中球数、	血小板数grade4
発熱性好中球減少症	grade2
非血液毒性	grade3

中止基準

1	
投与回数	16回投与された場合
血清Cr	≥1.2mg/dLが7日以上継続し、投与開始できない場合
末梢神経障害・臓器障害	grade2
アナフィラキシー・アレルギー反応	grade3

-減量方法

	初回投与量	1段階減量	2段階減量	3段階減量
GEM	1000mg/m2	800mg/m2	600mg/m2	中止
CDDP	25mg/m2	中止		

#### S-1単独療法

#### <対象疾患>切除不能胆道癌

#### <治療レジメン>

	薬剤名	体表面積	投与量							投与ス	スケジニ	ュール					
	<b>米</b> 利石		1	2	3	8	9	10	15	16	17	28	29		4	2	
		1.25m2未満 4	10mg/回													•	
1	S-1	≧1.25,<1.5m2	50mg/回	•									→		休	薬	
		1.5m2以上 60	)mg/回														
	内服制吐剤	☑必要なし、□	□必要あり										•				
	その他前投薬	□不要、□必	要														
	経口抗がん剤併用薬																
	備考																

#### <投与期間>

6週間で1クール

#### <備考欄>

•減量方法

初回投与量	40mg/回	50mg/回	60mg/回
減量	休薬	40mg/回 →中止	50mg/回 →40mg/回 →中止

#### GEM+nab-PTX療法

#### <対象疾患>PS0-1の切除不能な膵癌

#### <治療レジメン>

	Trick ク	4n. L E	投与方法							投与;	スケジ	ュール			
	薬剤名	投与量	点滴時間	1	2	3	8	9	10	15	16	17	28		
(1)	パロノセトロン点滴静注0.75mg	50mL	点滴静注	1			_								
$\bigcirc$	デキサート注3.3mg	2A	30分	<b>→</b>			<b>1</b>			↓					
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	-			_								
٧	ゲムシタビン(GEM)	1000mg/m2	30分	*			•			<b>*</b>					
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	1						l i					
			30分	*			•			*					
4	生理食塩液	500mL	点滴静注	ı						l i					
•	アブラキサン点滴静注用	125mg/m2	30分	•			*			<b>*</b>					
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注   30分	1			↓			1					
		☑必要													
	内服制吐剤	☑アプレピタン	<b>小</b> カプセル(	Day	ر14	:4)3	日	間)	2回目	以降	は適宜	Ì			
	その他前投薬														
	フィルター	☑インラインフィルターは使用しない													
	経口抗がん剤併用薬														
	備考														

<sup>&</sup>lt;投与期間>

#### <備考欄>

#### • 投与可否基準

	Day1	Day8,15						
好中球数	1500/mm3以上	1000/mm3を超える						
血小板数	100,0000/mm3以上	50,000/mm3以上						
AST,ALT	1500/mm2以上	ı						
発熱性好中球減少症	認め	りない						
末梢神経障害								
口腔粘膜塩	grade2以下 又は 前コースでgrade3以上が発現した 場合grade1以下に復帰後							
下痢	場日grade I 以下已复帰及							

#### 減量基準・GEM

	減量の目安	次回投与時
好中球数	<500mm3が7日以上継続	1段階減量
血小板数	<50,000/mm3	1段階減量
発熱性好中球減少症	発現(≧Grade3)	1段階減量
末梢神経障害	≧Grade3	1段階減量(nab-PTXのみ)
皮疹	Grade2/3	1段階減量
口腔粘膜炎	≧Grade3	1段階減量
下痢	≧Grade3	1段階減量
減量方法		

# nab-PTX GEM 通常投与量 125mg/m2 1000mg/m2 1段階減量 100mg/m2 800mg/m2 2段階減量 75mg/m2 600mg/m2

<sup>4</sup>週間で1クール

#### FOLFIRINOX療法

<対象疾患>切除不能例(術後再発を除く)に対する一次治療

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						抖	と与え	スケジュール
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	
(1)	パロノセトロン点滴静注用0.	50mL	点滴静注	_							
$\Box$	デキサート注3.3mg	2A	30分	<b>→</b>							
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	_							
2	オキザリノフナン	85mg/m2	120分	•							
3	生理食塩液	500mL	点滴静注	_							
9	レボホリナート	200mg/m2	120分	<b>+</b>							
3	5%ブドウ糖液	200mg/m2	点滴静注	_							
9	イリノテカン	180mg/m2	90分	<b>→</b>							
<b>4</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	_							
4	5FU	400mg/m2	5分	•							
<b>(5</b> )	生理食塩液	必要量	点滴静注	_							
9	5FU	2400mg/m2		<b>V</b>							
	内服制吐剤		プレピタン								
	その他前投薬	□不要 ☑』	必要に応じ	て	<u>,                                    </u>	デキ	ーサ	۲.	タゾン	ノ8 n	ng/dayを使用
	経口抗がん剤併用薬										
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する									
	備考	⑤はインフュ	5)はインフューザーポンプを使用する								

<投与期間>

2週間で1クール

#### <備考欄>

用・つ 川利 /
投与開始基準
白血球≧3000
好中球数≧1500
水様下痢がない
感染を思わせる発熱がない
血小板数≧10万以上
T-Bil≦2
AST/ALT<100
Cr≦1.2
尿蛋白≦100
その他、grade2以下

2回目以降の投与基 1.好中球≥1500 2.血小板数≥75.00

減量基準	
白血球数<1000	
好中球<500	
血小板数<50,000発熱38度未満	
下痢grade2以上	
その他grade3以上	
延期が2回発生	

#### FP療法

#### <対象疾患>食道癌

### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	方法 投与スケジュール													
	<b>米</b> 則石	ひ ラ里	点滴時間	1	2	3	4	5	6	10	16	17	21	28			
(1)	パロノセトロン点滴静注0.75mg	50mL	点滴静注														
$\Box$	デキサート注3.3mg	2A	30分	•													
2	ソルデム3A輸液	500mL	点滴静注	1													
٧	硫酸Mg補正液1mEq/mL	0.4A	60分	<b>→</b>													
3	生理食塩液	500mL	点滴静注	1													
9	シスプラチン注	80mg/m2	60分	•													
4	生理食塩液	50mL	点滴静注		lı	ı	1	п									
	デキサート注3.3mg	2A	30分		•	•	<b>→</b>	<b>1</b>									
5	生理食塩液	100mL	点滴静注	lı	l i l	<b></b>	$  \cdot  $	П	╽╻┖	111							
•	5FU	800mg/m2	24時間	*	*	•	*	•									
<b>6</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注						ı								
	工程及温水		30分						•								
		☑必要															
	内服制吐剤	☑アプレピタ										以降(	<u> ま適</u>	<u>宜</u>			
		☑デキサメタ		ng/	/日	をD	)ay	2よ	<i></i> 93₽	3間)	)						
	その他前投薬	☑必要なし、□必要あり															
	経口抗がん剤併用薬	□不要、□必															
	フィルター	☑インライン	フィルターを	·使	用:	する	5										
	備考																

<投与期間> 3週間で1クール

<備考欄> ・ 減量基準

<u>"&gt;= = -</u>		
白血球数	<1000	
血小板数	<25,000	
発熱性好中球減少症	発現	CDDP60,5FU600に減量
血清クレアチニン値	Cr>1.5	CDDP 60に減量

#### DTX単独療法

#### Atezolizumab+CBDCA+PEM療法 NEW

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投-	与ス′	ケジ	ュー	ル		
	条 <b>則</b> 石	<b>投</b> 分里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	15	16	17	21		
(1)	グラニセトロン点滴静注1mg	100mL	点滴静注												
$\Box$	デキサート注3.3mg	2A	30分	<b>→</b>											
2	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注	1											
2	ドセタキセル	70mg/m2	60分	<b>↓</b>											
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	1											
3			30分	<b>→</b>											
		☑必要	-												
	内服制吐剤	☑デキサメタ	ゾン錠8mg	(D	ay2	より	J31	引目	引):	2回	目以	降は	適宜	ľ	
	その他前投薬	☑不要 □必													
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する													
	経口抗がん剤併用薬														
	備考														

<投与期間>

3週間で1クール

<備考欄> • <u>投与可否基準</u>

好中球数	2000/mm3以上
血小板数	100,0000/mm3以上

投与中止

AST,ALT>1.5×ULNかつALP>2.5×ULN

#### Nivolumab単独療法

<対象疾患>癌化学療法後に増悪した根治切除不能な進行・再発の食道癌

#### く治療レジメン>

<u> </u>	<u> </u>	投与量	投与方法	投与スケジュール									
		<b>投</b> 分里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14			
1	生理食塩液		点滴静注										
$\Box$			15分	<b>\</b>									
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	1									
2	オプジーボ点滴静注	240mg/body		<b>→</b>									
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	1									
9			15分	<b>→</b>									
	内服制吐剤	☑必要なし、□	]必要あり										
	その他前投薬	□不要、□必											
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する											
	経口抗がん剤併用薬												
	備考												

<投与期間> 2週間で1クール

#### S-1単独療法

#### <対象疾患>術後補助化学療法、手術不能または再発症例

#### <治療レジメン>

	薬剤名	体表面積	投与量	投与スケジュール												
	※ 別 位		<b>投</b> 子里	1	2	3	8	9	10	15	16	17	28	29		42
		1.25m2未満	40mg/回													
1	S-1	≥1.25,<1.5m		lacktriangle									<b>→</b>		休薬	
		1.5m2以上 6	60mg/回													
	内服制吐剤	☑不要														
	その他前投薬	☑不要	<b>、</b> 要													
	経口抗がん剤併用薬															
	備考															

<投与期間> 6週間で1クール

## <備考欄> ·減<u>量方法</u>

<u> </u>			
初回投与量	₹ 40mg	g/回 50mg/[	回 60mg/回
減量	休	————————————————————————————————————	. I <del></del>

#### S-1+DTX療法

<対象疾患>切除不能·再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

Atezolizumab+CBDCA+PEM療法 NEW <治療レジメン>

	<u> 薬</u> 剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル	
	<b>米</b> 則石	<b>投</b> 子里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	
(1)	グラニセトロン点滴静注3mg	100mL	点滴静注	ı										
	デキサート注3.3mg	2A	30分	1										
2	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注	1										
٧	ドセタキセル	40mg/m2	60分	1										
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	_										
9			30分	1										
		1.25m2未満	40mg/回											
4	S-1		12 50mg/፲ ●				-		+		<b>→</b>	休	薬	
		1.5m2以上 (	60mg/回											
	内服制吐剤	☑不要												
	その他前投薬	□不要 ☑』	必要に応じ	て	<u>, -</u>	デキ	・サ	٨.	タソ	゚ン゙゙	3 mg	∕day	を使	<b>注用</b>
	経口抗がん剤併用薬													
	フィルター	☑インライン	フィルターを	使	用	する	5							
	備考													

<投与期間>

3週間で1クール

### <備考欄>

·減<u>量方法</u>

初回投与量	40mg/回	50mg/回	60mg/回
減量	休薬	40mg/回 →中止	50mg/回 →40mg/回 →中止

#### weekly PTX療法

#### <対象疾患>切除不能・再発胃癌

#### <治療レジメン>

	がアンプン		投与方法						亿	トフ	۲٠	ュー	. 11 .				
	薬剤名	投与量							仅	ナヘ	_		70				
	米がら	IX J <del>E</del>	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	28			
	グラニセトロン点滴静注3mg	100mL	点滴静注														
1	ファモチジン静注20mg	1A	30分	$\downarrow$			↓				1						
		2A	, ,														
2	5%ブドウ糖注射液	250mL	┃点滴静注		点滴静注				lı				l				
2	パクリタキセル	100mg/m2	30分	1			$\downarrow^{\downarrow}$	igwdapsilon			<b>*</b>						
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	_			_										
9			30分	0分 ┃╹┃			<b>→</b>				↓						
	内服制吐剤		要に応じて														
	アシカ以中リモニカリ		〉要に応じて										Ŧ				
	その他前投薬	☑化学療法開始時、レスタミンコーワ錠10mg5錠服用															
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する															
	備考																

### <投与期間>

4週間で1クール

## <備考欄> ∙減<u>量方法</u>

•	<del></del> /J/ <del>_</del>						
	初回投与量	第一段階	第2段階				
	減量	80mg/m2	60mg/m2				

#### CPT11単独療法

#### <対象疾患>切除不能・再発食道癌

#### <治療レジメン>

	<u> </u>		投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル				
	<b>米</b> 則石	投予里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	24	25	26	28
(1)	生理食塩液	50mL	点滴静注	1			_				l						
$\Box$	デキサート注3.3mg	2A	15分	<b>1</b>			<b>1</b>				\						
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	1			_				l						
9	イリノテカン	150mg/m2	60分	1			•				•						
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	1			_				l						
9			15分	<b>1</b>			1				1						
	内服制吐剤	☑不要 □必	要に応じて		アフ	プレ	ピク	マン	トカ	プセル	ル3 E	<b>3分</b> I	内服				
		□不要 ☑必	多要に応じて	<u> </u>	デ <i>=</i>	トサ	-メ	<u>タゾ</u>	ン8	mg/	day?	を使り	<b>用</b>				
	その他前投薬																
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する															
	備考										•	•		•			

<投与期間> 4週間で1クール

## <備考欄> ∙減<u>量方法</u>

· <u>—— / B / —                                    </u>			
初回投与量	40mg/回	50mg/回	60mg/回
減量	休薬	40mg/回 →中止	50mg/回 →40mg/回 →中止

#### Trastuzumab単独療法

#### <対象疾患>切除不能・再発食道癌

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル				
	※ 別 位	投予里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	24	25	26	28
1	生理食塩液	50mL	点滴静注 15分	$\downarrow$			$\rightarrow$				$\rightarrow$						
	生理食塩液	250mL	点滴静注														
2	ハーセプチン(初回)	8mg/kg	90分	$\downarrow$			$\downarrow$				$\downarrow$						
	ハーセプチン(2回目以降)	6mg/kg	60or30分														
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	_													
<b>9</b>			15分	1			<b>→</b>				<b>→</b>						
	内服制吐剤	☑不要															
	その他前投薬	☑不要															
	経口抗がん剤併用薬																
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する															
	備考																

<投与期間> 4週間で1クール

#### SOX療法

<対象疾患>切除不能·再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	・ル	
	<b>采</b> 則石	<b>投</b> 子里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	
1	パロノセトロン点滴静注用0.75m	100mL	点滴静注	ı										
U	デキサート注3.3mg	3A	30分	<b>→</b>										
2	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注	ı										
2	オキサリプラチン	100mg/m2	120分	<b>→</b>										
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı										
3			15分	<b>→</b>										
		1.25m2未満	40mg/回											
4	S-1	≥1.25,<1.5m	2 50mg/匠								<b>→</b>	休	薬	
		1.5m2以上 (												
	内服制吐剤		多要に応じて											
	アンカ以中リモニカリ	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン8mg/d					day?	を使り	用					
	その他前投薬													
	フィルター	☑インライン	フィルターを	一使	用	する	5		•	•			•	
	備考													

<投与期間> 3週間で1クール

量方法		S-1		L-OHP
	<1.25m2	≧125m2 <1.5	≧1.5m2	-
第1段階	25mg/回	25mg/回	40mg/回	75mg/m2
第2段階	20mg/回	20mg/回	25mg/回	50mg/m2

#### Ramucirumab+PTX療法

<対象疾患>切除不能・再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル				
	<b>米</b> 則石	投予里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	22	24	25	28
	生理食塩液	50mL	点滴静注														
1	ファモチジン静注20mg	1A	15分	$\downarrow$			. ↓				$\downarrow$						
	デキサート注3.3mg	2A	1071														
2	レスタミン錠	内服		$\downarrow$			$\downarrow$				$\downarrow$						
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	lı							1						
9			30分	*			•				•						
4	生理食塩液	250mL	点滴静注	lı							ı						
•	サイラムザ	8mg/kg	60分*	*							*						
<b>⑤</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	lт							ı						
•			15分	*							*						
6	5%ブドウ糖液	250mL	点滴静注	lт			ы				ı						
•	タキソール注	80mg/m2	60分	*			*				*						
(7)	生理食塩液	50mL	点滴静注	lт							1						
			15分	•			*			0 -	•						
	, 内服制吐剤	□不要 ☑必要に応じて、アプレピタントカプセル3日分内服 □不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用															
										mg/	day?	を使り	Ħ				
	その他前投薬	□不要 ☑レ						5鈑	Ĕ								
	フィルター	☑インライン															
	備考	*1回目忍容性があれば、2回目以降は30分点滴															

<投与期間> 3週間で1クール

	考欄>				
•減量	量方法		1回目	2回目	3回目
	タンパク尿	2−3g∕day	休薬し回復後 6mg/kgで再開 回復しない場合 は中止	休薬し回復後 6mg/kgで再開 回復しない場合 は中止	中止
		>3g/day	中止	1	_
		≦grade3有 症状	休薬し回復後 6mg/kgで再開	休薬し回復後 5mg/kgで再開	中十
	高血圧	grades 無症状で2 週間以上継	休薬し回復後 6mg/kgで再開	休薬し回復後 5mg/kgで再開	中止
		grade4	中山	_	_
	infusion reaction	grade3-4	中止	_	_

XP療法

<対象疾患>切除不能·再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法   投与スケジュール     点滴時間   1   2   3   8   9   10   14   15   16   21											
	条 <b>則</b> 石	<b>投</b> 子里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı										
			15分	<b>→</b>										
2	生理食塩液	250mL	点滴静注	ı										
2	トラスツズマブ	8mg/kg*	90分	•										
3	生理食塩液	500mL	点滴静注	ı										
9			60分	*										
4	パロノセトロン点滴静注用0.75mg	100mL	点滴静注	ı										
•	デキサート注3.3mg	3A	30分	*										
<b>⑤</b>	生理食塩水	500mL	点滴静注											
9	シスプラチン	80mg/m2	120分	*										
<b>6</b>	マンニットール	300mL	点滴静注	1										
•			30分	*										
	生理食塩液	1000mL	点滴静注											
(7)	塩化カリウム注キット	1キット	180分	↓										
	硫酸Mg補正液1mEq/mL	0.4キット	10071											
		1.36m2未満												
		1200mg/回												
		1.36m2-	1500mg/											
(8)	カペシタビン	1.66m2	回								<b>→</b>	休	薬	
		1.66-1.96m	1800mg/	•								1	_	
		2	□											
		1.96m2以上 回												
		□不要 ☑必	要に応じて		アン	プレ	ピク	シン	<b>卜力</b> :	プセル	ル3 E	分	<b>为服</b>	
	内服制吐剤	□不要 ☑必												
	その他前投薬				•							_ 12 41		
	フィルター	☑インライン	フィルターを	-使	用	する	5							
	備考	*2回目以降は6mg/kg												

#### SOX/HER療法

<対象疾患>切除不能·再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル	
	<b>采</b> 則石	投予里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	
(1)	生理食塩液	50mL	点滴静注	_										
U			15分	<b>→</b>										
2	生理食塩液	250mL	点滴静注	1										
2	トラスツズマブ	8mg/kg*	90分*	<b>1</b>										
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı										
9			15分	<b>*</b>										
4	パロノセトロン点滴静注用0.75m	50mL	点滴静注	ı										
•	デキサート注3.3mg	3A**	30分	*										
(5)	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注	ı										
•	オキサリプラチン	100mg/m2	120分	*										
<b>6</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı										
0			15分	*										
		1.25m2未満										l		
7	S-1	≥1.25,<1.5m									-	休	薬	
		1.5m2以上 60mg/回												
	内服制吐剤	□不要 ☑必要に応じて、アプレピタントカプセル3日分内服 □不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用												
		□不要 ☑必	〉要に応じて	<u> </u>	デュ	トサ	-メ	タゾ	ン8	mg/	day?	を使り	<b>刊</b>	
	その他前投薬													
	フィルター	☑インライン							0				. 15	
	備考	*2回目以降は6mg/kg 60or30分 **アプレピタント内服で減量考慮												

<投与期間> 3週間で1クール

	前考欄 <i>&gt;</i>				
• 減	量方法		S-1		L-OHP
		<1.25m2	≧125m2 <1.5	≧1.5m2	-
	第1段階	25mg/回	25mg/回	40mg/回	75mg/m2
	第2段階	20mg/回	20mg/回	25mg/回	50mg/m2

#### Ramucirumab療法

<対象疾患>切除不能·再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル				
	<b>采</b> 則石	<b>投</b> 子里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	22	24	25	28
	生理食塩液	50mL	点滴静注														
1	ファモチジン静注20mg	1A	15分	$\downarrow$							$\downarrow$						
	デキサート注3.3mg	2A	1371														
2	レスタミン錠	内服		$\downarrow$							<b>→</b>						
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	1													
9			30分	1							<b>→</b>						
4	生理食塩液	250mL	点滴静注	_													
4	サイラムザ	8mg/kg	60分*	1							<b>→</b>						
<b>⑤</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	1													
9			15分	1							<b>→</b>						
	内服制吐剤		プレピタン														
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用															
	経口抗がん剤併用薬		スタミンコー					5鈸	È								
	フィルター	☑インライン							•	•	•	•	•				
	備考	*1回目忍容性があれば、2回目以降は30分点滴															

<投与期間> 4週間で1クール

		_		-
	浦	븦	╼	注
_	JPV.	里	,,	1/2

<u> 量方法                                   </u>		1回目	2回目	3回目
タンパク尿	2−3g/day	休薬し回復後 6mg/kgで再開 回復しない場合 は中止	休薬し回復後 6mg/kgで再開 回復しない場合 は中止	中止
	>3g/day	中山	-	-
	≦grade3有 症状	休薬し回復後 6mg/kgで再開	休薬し回復後 5mg/kgで再開	中止
高血圧	無症状で2 週間以上継	休薬し回復後 6mg/kgで再開	休薬し回復後 5mg/kgで再開	中止
	grade4	中止	_	_
infusion reaction	grade3-4	中止	_	_

Nivolumab単独療法 <対象疾患>癌化学療法後に増悪した根治切除不能な進行・再発の食道癌

#### く治療レジメン>

<u> </u>	<u> </u>	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジュール
	条 <b>則</b> 石	权分里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı							
$\Box$			15分	•							
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı							
2	オプジーボ点滴静注	240mg/body		<b>→</b>							
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı							
9			15分	<b>→</b>							
	内服制吐剤	☑必要なし	□必要								
	その他前投薬	☑不要 □必要									
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する									
	経口抗がん剤併用薬										
	備考								•		

<投与期間>

2週間で1クール

#### Ramcirumab+weekly nab-PTX療法

<対象疾患>切除不能·再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル				
	<b>米</b> 則石	ひ ラ里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	22	24	25	28
1	生理食塩液	50mL	点滴静注				_										
$\Box$			30分	1			1				↓						
2	レスタミン錠	内服		$\downarrow$							$\downarrow$						
3	生理食塩液	250mL	点滴静注	1													
<b>3</b>	サイラムザ	8mg/kg	60分*	<b>→</b>							↓						
<b>4</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注														
4			15分	<b>→</b>							↓						
<b>⑤</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	1			ı										
9	アブラキサン	100mg/m2	30分	<b>→</b>			<b>→</b>				<b>→</b>						
<b>6</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	1			ı										
0			15分	<b>→</b>			<b>→</b>				<b>*</b>						
	内服制吐剤	□不要 □アプレピタントカプセル3日分内服															
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用															
	経口抗がん剤併用薬	□不要 ☑レスタミンコーワ錠10mg 5錠は最初の生理食塩水開始時に服用															
	フィルター	☑アブラキサン投薬時はインラインフィルターを使用しない。															
	備考	*1回目忍容性があれば、2回目以降は30分点滴															

<投与期間> 4週間で1クール

#### <備考欄> ·減<u>量方法</u>

芃 <u>量方法</u>	Ramcirumab	1回目	2回目	3回目
タンパク尿	2-3g/day	休薬し回復後 6mg/kgで再開 回復しない場合 は中止	休薬し回復後 6mg/kgで再開 回復しない場合 は中止	中止
	>3g/day	中止	_	_
	≦grade3有 症状	休薬し回復後 6mg/kgで再開	休薬し回復後 5mg/kgで再開	中止
高血圧	無症状で2 週間以上継	休薬し回復後 6mg/kgで再開	休薬し回復後 5mg/kgで再開	中止
	grade4	中上	_	_
infusion reaction	grade3-4	中止	_	_

nab-PTX	コース内基準/次コース開始基準	減量基準
好中球数	≧1,000mm3	<500/mm3
発熱性好中球減少症	認めない。回復	発現
血小板数	≧75,000mm3	<25, 000mm3
AST,ALT	≦ULN×2.5倍(原疾患に起因 又は肝転移を有する場合は施 設基準上限の5倍	医師が同一用量で投 与継続困難と判断
末梢神経障害	≦grade2	≧grade3
皮膚障害	≦grade1	≧grade2
粘膜炎•下痢	≦grade1	≧grade2

減量の目安

減量段階	nab-PTX	Ramcirumab
通常投与量	100mg/m2	8mg/kg
1段階減量	80mg/m2	6mg/kg
2段階減量	60mg/m2	5mg/kg

#### S-1+CDDP療法

<対象疾患>切除不能·再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

#### <治療レジメン>

	リスレン・ファ													
	薬剤名	投与量	投与方法						<u>投</u> .	<u>与ス</u>	<u>ケジ</u>	<u>- 1</u>	ル	
	未則有	1女子里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	
1	生理食塩液	500mL	点滴静注											
Û			120分											
2	パロノセトロン点滴静注用0.75m	100mL	点滴静注											
2	デキサート注3.3mg	3A	30分				<b>→</b>							
3	生理食塩液	500mL	点滴静注				_							
(S)	シスプラチン	80mg/m2	120分				<b>→</b>							
<b>4</b>	マンニットール	300mL	点滴静注	1										
4			30分	<b>1</b>										
	生理食塩液	1000mL	点滴静注											
<b>⑤</b>	塩化カリウム注キット	1キット	180分	1										
	硫酸Mg補正液1mEq/mL	0.4キット	1007											
		1.25m2未満 4	10mg/回											
6	S-1	≧1.25,<1.5m2 50mg/回 ◆												
		1.5m2以上 60mg/回												
	内服制吐剤	□不要 ☑アプレピタントカプセル3日分内服、□オランザピン5mg内服												
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用												
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する												
	備考													

<投与期間> 3週間で1クール

#### <備老欄>

<b>→</b> \	サケイト				
• 減	量方法		S-1		CDDP
		<1.25m2	≧125m2 <1.5	≧1.5m2	ı
	第1段階	25mg/回	25mg/回	40mg/回	60mg/m2
	第2段階	20mg/回	20mg/回	25mg/回	50mg/m2

#### 

<対象疾患>切除不能・再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投-	与ス	ケジ	ュー	ル	
	关 別 石	ひ 予里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	
1	グラニセトロン	100mL	点滴静注	1										
Û	デキサート注3.3mg	2A	30分	•										
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı										
2	ベバシズマブ	7.5mg/kg	90分*	<b>*</b>										
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı										
<u> </u>			15分	<b>1</b>										
4	5%ブドウ糖	250mL	点滴静注	ı										
•	オキサリプラチン	130mg/m2	120分	<b>*</b>										
<b>⑤</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı										
9			15分	*										
		1.36m2未満	1200mg/回											
		1.36m2-1.66	1500mg/回									١,,		
6	カペシタビン	m2	тосонь, Д	•							<b>→</b>	休	薬	
		1.66-1.96m2												
			2100mg/回		L									
	内服制吐剤	□不要 ☑アプレピタントカプセル3日分内服												
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用												
	経口抗がん剤併用薬													•
	フィルター	☑インライン							•				•	
	備考	*2回目は60分、3回目以降は30分での投薬が可能												

<投与期間> 3週間で1クール

#### weekly nab-PTX療法

#### <対象疾患>切除不能・再発胃癌(2次治療)

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル				
	<b>采</b> 則石	12. 丁里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	22	24	25	28
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı			_										
Û			30分	<b>1</b>			1				1						
2	レスタミン錠	内服		$\downarrow$			$\downarrow$				$\downarrow$						
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı			_				_						
3	アブラキサン	100mg/m2	30分	<b>→</b>			1				<b>→</b>						
4	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı													
4			15分	<b>→</b>			1				<b>→</b>						
	内服制吐剤	□不要 ロアプレピタントカプセル3日分内服															
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用															
	経口抗がん剤併用薬	□不要 ☑レスタミンコーワ錠10mg 5錠は最初の生理食塩水開始時に服用															
	フィルター	☑アブラキサン投薬時はインラインフィルターを使用しない。															
	備考	*1回目忍容性があれば、2回目以降は30分点滴															

<投与期間> 4週間で1クール

#### <備考欄>

•減量方法

nab-PTX	コース内基準/次コース開始基準	減量基準
好中球数	≧1,000mm3	<500/mm3
発熱性好中球減少症	認めない。回復	発現
血小板数	≧75,000mm3	<25, 000mm3
AST,ALT	≦ULN×2.5倍(原疾患に起因 又は肝転移を有する場合は施 設基準上限の5倍	医師が同一用量で投 与継続困難と判断
末梢神経障害	≦grade2	≧grade3
皮膚障害	≦grade1	≧grade2
粘膜炎•下痢	≦grade1	≧grade2

減量の目安

減量段階	nab-PTX
通常投与量	100mg/m2
1段階減量	80mg/m2
2段階減量	60mg/m2

#### mFOLFOX6療法

<対象疾患>切除不能・再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール										
	<b>采</b> 則石	权分里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14				
(1)	パロノセトロン点滴静注用0.75m	50mL	点滴静注											
_	デキサート注3.3mg	3A	30分	<b>→</b>										
2	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	1										
	レボホリナート	200mg/m2	120分	<b>→</b>										
2	5%ブドウ糖液	200mg/m2	点滴静注	1	ı	тШ								
٧	オキサリプラチン	85mg/m2	120分	<b>→</b>										
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	1										
	5FU	400mg/m2	5分	<b>→</b>										
4	生理食塩液	必要量	点滴静注	ı										
•	5FU	2400mg/m2	46時間	*										
	内服制吐剤	□不要 ☑アプレピタントカプセル3日分内服 □不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayをday2-3使用												
	その他前投薬													
	経口抗がん剤併用薬													
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する												
	備考	②は同時に点滴												
	1)佣 右	④はインフュ	ーザーポンプを使	用										

\_\_\_\_\_ <投与期間> 2週間で1クール

#### mFOLFOX6+Bev療法

<対象疾患>切除不能・再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール					ケジュール			
	<b>采</b> 則石	<b>投</b> 子里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14		
	パロノセトロン点滴静注用0.75m	50mL	点滴静注									
	デキサート注3.3mg	3A	30分*	<b>→</b>								
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	1								
2	ベバシズマブ	5mg/kg	90分*	<b>→</b>								
3	生理食塩液	50mL	点滴静注									
9			15分	<b>→</b>								
4	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注									
	レボホリナート	200mg/m2	120分	<b>→</b>								
4	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注									
•	オキサリプラチン	85mg/m2	120分	<b>→</b>								
<b>⑤</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注									
_	5FU	400mg/m2	15分	<b>→</b>								
6	生理食塩液	必要量	点滴静注	L								
0	5FU	2400mg/m2	46時間*	<b>→</b>								
	内服制吐剤	口不要 ロアプレピタントカプセル3日分内服										
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン8 mg/dayを使用 ☑インラインフィルターを使用する										
	経口抗がん剤併用薬											
	フィルター											
	備考	*①開始と同	時にレスタミン錠区	内肌	₹、2	2回	目に	\$6	0分、	3回	目は30分でも可能*⑥はイ	
	<b>加州 万</b>	ンフューザーポンプを使用する										

<投与期間> 2週間で1クール

投与開始基準	
PS:0-2	
Hb:9以上	
好中球数≧1500	
血小板数≧10万以上	
T-Bil≦1.5×ULN	
AST/ALT≦2.5×ULN	
Cr≦ULN	

2回目以降の投与基準	
1.好中球≧1500	
2.血小板数≧75.000	

減量基準
好中球<500
血小板数<50,000
5FUを20%減量
オキサリプラチンは65mg/m2に減量

#### mFOLFOX6+Pmab療法

<対象疾患>切除不能·再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール							
	<b>采</b> 則石	<b>投</b> 子里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	
1	パロノセトロン点滴静注用0.75m	100mL	点滴静注								
Û	デキサート注3.3mg	3A	30分*	<b>→</b>							
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	1							
2	ベクティビックス	6mg/kg	60分*	<b>→</b>							
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	L							
9			15分	<b>→</b>							
4	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	L							
	レボホリナート	200mg/m2	120分	<b>→</b>							
4	5%ブドウ糖液	200mg/m2	点滴静注	1							
•	オキサリプラチン	85mg/m2	120分	<b>→</b>							
<b>⑤</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	L							
	5FU	400mg/m2	15分	<b>→</b>							
<b>6</b>	生理食塩液	必要量	点滴静注	L							
0	5FU	2400mg/m2		•							
	内服制吐剤	□不要 ☑アプレピタントカプセル3日分内服									
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン8 mg/dayをday2-3使用 ☑インラインフィルターを使用する									
	経口抗がん剤併用薬										
	フィルター										
	備考					5ا(2	はイン	ノフ	ュー	-ジョ	ンリアクションに注意*⑥
	1)用 ′与	はインフュー	ザーポンプを使用	す	る						

\_\_\_\_ <投与期間> 2週間で1クール

7	
	投与開始基準
	PS:0-2
	Hb:9以上
	好中球数≧1500
	血小板数≧10万以上
	T-Bil≦1.5×ULN
	AST/ALT≦2.5 × ULN
	Cr≦ULN

2回目以降の投与基準	
1.好中球≧1500	
2.血小板数≧75.000	

減量基準
好中球<500
血小板数<50,000
5FUを20%減量
オキサリプラチンは65mg/m2に減量

#### FOLFIRI療法

<対象疾患>切除不能·再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

#### <治療レジメン>

	1分レファン /			_							
	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール							
	未刊石	汉子里	点滴時間	1	2	ვ	8	9	10	14	
1	パロノセトロン点滴静注用0.75m	50mL	点滴静注	ı							
	デキサート注3.3mg	2A	30分	<b>+</b>							
2	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注								
2	レボホリナート	200mg/m2	120分	•							
2	5%ブドウ糖液	200mg/m2	点滴静注	ı							
	イリノテカン	180mg/m2	120分	<b>+</b>							
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı							
9	5FU	400mg/m2	5分	•							
4	生理食塩液	必要量	点滴静注	ı							
•	5FU	2400mg/m2	46時間*	•							
	内服制吐剤		<mark>'</mark> プレピタントカプ ł								
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用									
	経口抗がん剤併用薬										
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する									
	備考	。 ⑥はインフューザーポンプを使用する									
	C. mi	9	, 110 CK	., 13	,						

\_\_\_\_\_ <投与期間> 2週間で1クール

ИГ	・プログン
	投与開始基準
	白血球≧3000
	好中球数≧1500
	水様下痢がない
	感染を思わせる発熱がない
	血小板数≧10万以上
	T-Bil≦2
	AST/ALT<100
	Cr≦1.2
	尿蛋白≦100
	その他、grade2以下

2回目以降の投与基準
1.好中球≧1500
2.血小板数≧75.000

減量基準
白血球数<1000
好中球<500
血小板数<50,000発熱38度未満
工点 エのいし
下痢grade2以上
その他grade3以上
「COTILIBERACES以上
延期が2回発生

#### FOLFIRI+Bev療法

### <対象疾患>切除不能·再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量			投与スケジュール									
	<b>采</b> 則石	权分里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14				
1	パロノセトロン点滴静注用0.75m	50mL	点滴静注											
$\cup$	デキサート注3.3mg	2A	30分	\										
2	生理食塩水	100mL	点滴静注	П										
	ベバシズマブ	5mg/kg	30分	↓										
3	生理食塩水	50mL	点滴静注	lт										
9			15分	<b>↓</b>										
4	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	lт										
	レボホリナート	200mg/m2	120分	\										
4	5%ブドウ糖液	200mg/m2	点滴静注	lт										
	イリノテカン	180mg/m2	120分	\										
<b>⑤</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	lт										
_	5FU	400mg/m2	5分	↓										
6	生理食塩液	必要量	点滴静注	lт										
0	5FU	2400mg/m2	46時間*	•										
	内服制吐剤		'プレピタントカプも											
	その他前投薬	□不要 ☑』	必要に応じて、テ	<u>"キ</u>	<u>・サ</u>	メ!	<u>タゾ</u>	<u>`ン</u>	8 m	g/da	ayを使用			
	経口抗がん剤併用薬													
	フィルター	☑インライン	フィルターを使用す	ナる	)									
	備考	⑥はインフュ	うはインフューザーポンプを使用する											

\_\_\_\_ <投与期間> 2週間で1クール

用 <b>ろ</b> 懶 <i>入</i>
投与開始基準
白血球≧3000
好中球数≧1500
水様下痢がない
感染を思わせる発熱がない
血小板数≧10万以上
T-Bil≦2
AST/ALT<100
Cr≦1.2
尿蛋白≦100
その他、grade2以下

2回目以降の投与基準	
1.好中球≧1500	
2.血小板数≥75.000	

減量基準	
白血球数<1000	
好中球<500	
血小板数<50,000発熱38度未満	
下痢grade2以上	
その他grade3以上	
延期が2回発生	

#### FOLFIRI+Rmab療法

<対象疾患>切除不能·再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジ						ケジュール	
			点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	
1	パロノセトロン点滴静注用0.75m	50mL	点滴静注	L							
$\Box$	デキサート注3.3mg	2A	30分*	\							
2	生理食塩水	100mL	点滴静注	L							
2	サイラムザ	8mg/kg	60分*	<b>1</b>							
3	生理食塩水	50mL	点滴静注	L							
9			15分	<b>1</b>							
<b>4</b>	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	L							
•	レボホリナート	200mg/m2	120分	\							
<b>4</b>	5%ブドウ糖液	200mg/m2	点滴静注	ı							
•	イリノテカン	180mg/m2	90分	1							
<b>⑤</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注								
	5FU	400mg/m2	15分	1							
<b>6</b>	生理食塩液	必要量	点滴静注	L							
0	5FU	2400mg/m2	46時間*	1							
	内服制吐剤		<b>'</b> プレピタントカプも								
	その他前投薬	□不要 ☑』	<u>必要に応じて、テ</u>	ドキ	サ	メ	タン	゛ン	8 m	g/da	ayを使用、レスタミン錠
	ての他則技栄	50mg服用									
	経口抗がん剤併用薬		·								
	フィルター		フィルターを使用す						•	•	
	備考									回目	以降は忍容性があれば30
		分間で投薬の	⑥はインフューザー	一才	゚ン	プを	·使	用	する		

<投与期間> 2週間で1クール

用行惻/
投与開始基準
白血球≧3000
好中球数≥1500
水様下痢がない
感染を思わせる発熱がない
血小板数≧10万以上
T-Bil≦2
AST/ALT<100
Cr≦1.2
尿蛋白≦100
その他、grade2以下

2回目以降の投与基準	
1.好中球≧1500	
2.血小板数≥75.000	

減量基準
白血球数<1000
好中球<500
血小板数<50,000発熱38度未満
下痢grade2以上
その他grade3以上
延期が2回発生

#### Pmab単独療法

<対象疾患>切除不能・再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

#### <治療レジメン>

			投与方法						拉	与 マ	ケジュール			
	薬剤名	投与量	及子刀齿											
		```	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14				
(1)	生理食塩液	50mL	点滴静注	$\mathbf{I}_{\perp}$										
$\bigcirc$			15分	↓										
2	生理食塩液	100mL	点滴静注											
٧	ベクティビックス	6mg/kg	60分	\										
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	$\mathbf{I}_{\perp}$										
9			15分	\										
	内服制吐剤	口不要 ロア	プレピタントカプセ	<b>ヹ</b> ル	3E	分	·内	服						
	その他前投薬	□不要 ☑												
	経口抗がん剤併用薬													
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する												
*①開始と同時にレスタミン錠内服*②はインフュージョンリアクションに								ンリアクションに注意*⑥						
	備考	はインフュー	ザーポンプを使用	す	る									

## \_\_\_\_ <投与期間> 2週間で1クール

M	
	投与開始基準
	G3以上の皮膚症状: 投与延期
	投与量6mg/kg
	6週以内 G2以下
6	適以内に回復せず(投与中止)
	投与量4.8mg/kg
	6週以内 G2以下
6	適以内に回復せず(投与中止)
	投与量3.6mg/kg
	6週以内にG2以下にならなけ
	れば投与中止

2回目以降の投与基準	
1.好中球≧1500	
2.血小板数≥75.000	

#### Capecitabine単独療法

<対象疾患>切除不能·再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

#### く治療レジメン>

	コルレンアンノ													
	¥ 薬剤名	体表面積	投与量 投与量							与ス				
	<del>米</del> 利石	件	127里	1	2	3	8	9	10	14	15	16 21		
		1.36m2未満	1200mg/回											
		1.36m2-	1500/日											
1	カペシタビン	1.66m2	1500mg/回								-	休薬		
		1.66-1.96m	1800mg/回								.			
		1.96m2以上	2100mg/回											
	内服制吐剤	□不要 □アプレピタントカプセル3日分内服												
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用												
	経口抗がん剤併用薬													
	フィルター	ロインラインフィルターを使用する												
	備考													

<投与期間> 3週間で1クール

#### CAPOX(Capecitabine + L-OHP)療法

<対象疾患>切除不能・再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール											
	<b>采</b> 則石	权分里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21		
	パロノセトロン点滴静注用0.75m	100mL	点滴静注 30分	ļ											
1	デキサート注3.3mg	1A			↓	↓∐									
	ファモチジン静注20mg	1A													
2	5%ブドウ糖	250mL	点滴静注	П											
2	オキサリプラチン	130mg/m2	120分	<b>→</b>											
2	5%ブドウ糖	100mL	_ 点滴静注 120分												
2	デキサート注3.3mg	2A		<b>*</b>											
3	生理食塩液	50mL	点滴静注15分 ↓	lт											
9				*											
		1.36m2未満	1200mg/回												
		1.36m2-	1500mg/回												
4	カペシタビン	1.66m2	T300Hig/ 凹										→	休	薬
			1800mg/回												
		1.96m2以上													
	内服制吐剤		プレピタントカプセ												
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用													
	経口抗がん剤併用薬														
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する													
	備考	*2回目は60分、3回目以降は30分での投薬が可能													

<投与期間>

3週間で1クール

10 9 160 5
投与開始基準
好中球≧1500
血小板≧7.5万
AST/ALT<100
T-Bil<2
Cr<1.5 × ULN
カペシタビン投与基準
禁忌CCR<30
75%投与量 30≦CCR≦50

オキサリプラチン減量基準	早
好中球<500	
血小板<50000	
G3以上の有害事象	

#### 

<対象疾患>切除不能・再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

#### <治療レジメン>

<u> </u>	薬剤名	投与量	投与方法								ル			
	<b>采</b> 用石	<b>投</b> 子里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	
_	パロノセトロン点滴静注用0.75m	100mL	点滴静注											
1	デキサート注3.3mg	1A	30分	↓										
	ファモチジン静注20mg	1A												
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	lт										
	ベバシズマブ	7.5mg/kg	90分*	*										
3	生理食塩液	50mL	点滴静注15分	lт										
9				*										
4	5%ブドウ糖	250mL	点滴静注	lт										
	オキサリプラチン	130mg/m2	120分	*										
4	5%ブドウ糖	100mL	点滴静注	lт										
•	デキサート注3.3mg	2A	120分	Ľ										
<b>6</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注15分	L										
				Ľ										
		1.36m2未満	1200mg/回	l										
		1.36m2-1.66	1500mg/回	_								, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
7	カペシタビン	m2									•	1不	薬	
		1.66-1.96m2												
			2100mg/回	L_		$\Box$	Щ							
	内服制吐剤		プレピタントカプセ											
	その他前投薬	□不要 ☑,	必要に応じて、テ	<u>+</u>	ナサ	メ!	ヌン	アン	8 m	ıg∕da	iyを	使用		
	経口抗がん剤併用薬													
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する												
	備考	*2回目は60%	分、3回目以降は3	0分	うで	の‡	殳淳	きか	可自	Ė				

## <u><投与期間></u> 3週間で1クール

## <備考欄> <備考欄>

投与開始基準
好中球≧1500
血小板≧7.5万
AST/ALT<100
T-Bil<2
Cr<1.5×ULN
カペシタビン投与基準
禁忌CCR<30
75%投与量 30≦CCR≦50

オキサリプラチン減量基準
好中球<500
血小板<50000
G3以上の有害事象

ベバシズマブ休薬基準
出血G2
タンパク尿G2:100mg/dL以下になるまで
肝機能障害
ベバシズマブ休薬基準中止基準
過敏症G3以上
消化管穿孔·裂開
出血G3
血栓症·塞栓症G3(静脈系)
血栓症·塞栓症G1(動脈系)
高血圧G3以上(薬物制御不可)
蛋白尿G4
中枢神経症状発現

カペシタビンの減量基準	
G2の副作用⇒G0-1まで休薬	
2回日の減量1段階 3回日減量2段階で再開	

#### 

<対象疾患>切除不能・再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投	与ス	ケジ	ュー	ル	
	条 <b>刑</b> 石	<b>投</b> 分里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	
	パロノセトロン点滴静注用0.75m	100mL	点滴静注											
1	デキサート注3.3mg	1A	30分	↓										
	ファモチジン静注20mg	1A												
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	lт										
	ベクティビックス	6mg/kg	60分											
3	生理食塩液	50mL	点滴静注15分	lт										
	Sec. 1. It.													
4	5%ブドウ糖	250mL	点滴静注	L										
	オキサリプラチン	130mg/m2	120分	Ľ										
4	5%ブドウ糖	100mL	点滴静注	L										
<u>.</u>	デキサート注3.3mg	2A	120分	Ľ										
<b>6</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注15分	IJ										
				Ľ										
		1.36m2未満	1200mg/回											
	L	1.36m2-1.66	1500mg/回										<del>. 12.</del>	
7	カペシタビン	m2									<b> </b>	111	薬	
		1.66-1.96m2												
			2100mg/回	<u> </u>			<u> </u>							
	内服制吐剤		プレピタントカプセ											
	その他前投薬	□不要 ☑』	<u>必要に応じて、テ</u>	<u> </u>	-サ	<u>メ ?</u>	タン	ブン	8 m	g/da	yを	使用		
	経口抗がん剤併用薬													
	フィルター	☑インライン	ンフィルターを使用する											
	備考													

<投与期間> 3週間で1クール

## <備考欄> <備考欄>

<u>サ つ 川利 /                                 </u>	
投与開始基準	
好中球≧1500	
血小板≧7.5万	
AST/ALT<100	
T-Bil<2	
Cr<1.5 × ULN	
カペシタビン投与	基準
	禁忌CCR<30
75%投与量	30≦CCR≦50

オキサリプラチン減量基準
好中球<500
血小板<50000
G3以上の有害事象

ベバシズマブ休薬基準
出血G2
タンパク尿G2:100mg/dL以下になるまで
肝機能障害
ベバシズマブ休薬基準中止基準
過敏症G3以上
消化管穿孔·裂開
出血G3
血栓症·塞栓症G3(静脈系)
血栓症·塞栓症G1(動脈系)
高血圧G3以上(薬物制御不可)
蛋白尿G4
中枢神経症状発現

カペシタビンの減量基準	
G2の副作用⇒G0-1まで休薬	
2回目の減量1段階 3回目減量2段階で再開	

#### S-1単独療法

## <対象疾患>術後補助化学療法、手術不能または再発症例

#### <治療レジメン>

	薬剤名	体表面積	九 上 号	投与スケジュール												
	<b>采</b> 則石		<b>投</b> 子里	投与量 1		3	8	9	10	15	16	17	28	29		42
			40mg/回													
1	S-1	≥1.25,<1.5m					-	$\dashv$					-		休薬	
		1.5m2以上 6	60mg/回													
	内服制吐剤	☑不要							,							
	その他前投薬	☑不要														
	経口抗がん剤併用薬															
	備考															

<投与期間> 6週間で1クール

### <備考欄>

·減量方法

初回投与量	40mg/回	50mg/回	60mg/回
減量	休薬	40mg/回 →中止	50mg/回 →40mg/回 →中止

#### SOX-Bev療法

## <対象疾患>切除不能・再発胃癌(1次治療)、術後補助化学療法

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール   1   2   3   8   9   10   14   15   16   21										
	<b>采</b> 則石	权分里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	
(1)	パロノセトロン点滴静注用0.75m	100mL	点滴静注	ı										
$\Box$	デキサート注3.3mg	1A	30分	<b>1</b>										
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	lι										
	ベバシズマブ	7.5mg/kg	90分*	1										
3	生理食塩液	50mL	点滴静注15分	Lт										
9				*										
4	5%ブドウ糖	250mL	点滴静注	l l										
	オキサリプラチン	130mg/m2	120分	*										
4	5%ブドウ糖	100mL	点滴静注	l l										
•	デキサート注3.3mg	2A	120分	*										
<b>6</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注15分	\$注15分 │										
0				*										
		1.25m2未満		L										
7	S-1	≧1.25,<1.5m									-	休	薬	
		1.5m2以上 (												
	内服制吐剤	口不要 ロア	]アプレピタントカプセル3日分内服											
	その他前投薬	□不要 ☑≠	☑必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用											
	経口抗がん剤併用薬													
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する												
	備考	*2回目は60%	分、3回目以降は3	0分	で	の	殳菜	きが	可自					

<投与期間>

3週間で1クール

量方法		S-1		L-OHP
	<1.25m2	≧125m2 <1.5	≧1.5m2	-
第1段階	25mg/回	25mg/回	40mg/回	75mg/m2
第2段階	20mg/回	20mg/回	25mg/回	50mg/m2

#### CPT11単独療法

## <対象疾患>切除不能・再発食道癌

## <治療レジメン>

	英立はな	机上旦	投与方法						投	与ス	ケジュール	
	薬剤名	投与量	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14		
1	生理食塩液	50mL	点滴静注									
$\bigcirc$	デキサート注3.3mg	2A	15分	<b>→</b>			<b>→</b>					
2	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注									
2	イリノテカン	150mg/m2	90分	<b>→</b>			•					
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	1								
9			15分	<b>→</b>			<b>→</b>					
	内服制吐剤	☑不要	•									
	その他前投薬	□不要 ☑』	必要に応じて、テ	<u>"</u> +	ナサ	メ	メン	ブン	8 m	g/da	yを使用	
	経口抗がん剤併用薬											
	フィルター	☑インライン	フィルターを使用する									
	備考								•			

<sup>&</sup>lt;投与期間> 2週間で1クール

#### CPT11+Pmab療法

## <対象疾患>

#### <治療レジメン>

	安立の	₩ F 트	投与方法						投	与ス	ケジュール
	薬剤名	投与量	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	
	パロノセトロン	50mL	点滴静注								
1	デキサート注3.3mg	2A	15分	↓			] ↓				
	硫酸Mg補正液	1A									
2	生理食塩液	50mL	点滴静注	L			l				
2	ベクティビックス	6mg/kg	60分	•			•				
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	_			] ,				
9			15分	<b>1</b>			•				
<b>4</b>	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	L			l				
4	イリノテカン	150mg/m2	90分	<b>1</b>			•				
<b>⑤</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	L			l				
9			15分	<b>1</b>			•				
	内服制吐剤	☑不要									
	その他前投薬	□不要 ☑』	必要に応じて、テ	デキ	サ	メ!	タン	ブン	8 m	ıg∕da	ayを使用
	経口抗がん剤併用薬										
	フィルター	<b>ロインライン</b>	フィルターを使用す	ナる	)						
	備考										

<投与期間> 2週間で1クール

#### CPT11+Bev療法

## <対象疾患>

## <治療レジメン>

	<b>サ</b> ナルト		投与方法						投.	与ス.	ケジュール	
	薬剤名	投与量	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	Ė	_	Ŭ	Ť	Ť				
			15分	\								
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	П								
	ベバシズマブ	5mg/kg	90分*	\								
3	生理食塩液	50mL	点滴静注									
(S)			15分	<b>1</b>								
4	パロノセトロン	50mL	点滴静注									
	デキサート注3.3mg	2A	15分	\								
<b>⑤</b>	5%ブドウ糖液	250mL	点滴静注	П								
9	イリノテカン	150mg/m2	90分	\								
<b>6</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	L								
0			15分	<b>1</b>								
	内服制吐剤		多要に応じて、アプ									
		□不要 ☑必	]不要 ☑必要に応じて、デキサメタゾン8mg/dayを使用									
	その他前投薬											
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する										
	備考	*2回目は60%	分、3回目以降は3	0分	で	の打	殳菜	きが	可能			

### TAS102(ロンサーフ)単独療法

## <対象疾患>

<治療レジメン>

	薬剤名	体表面積(m2	投与量						投	与ス	ケジ	ュー	ル			
	<b>米</b> 則石	<b>个</b> 公田镇(IIIZ)	<b>投</b> 子里	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	21 28
		1.07未満	70mg/day													·
		1.07以上 1.23未満	80mg/day													
		1.23以上 1.38未満	90mg/day													
		1.38以上 1.53未満	100mg/day													
1	ロンサーフ	1.53以上 1.69未満	110mg/day	•	•	•	•	•			•	•	•	•	•	休薬
		1.69以上 1.84未満	120mg/day													
		1.84以上 1.99未満	130mg/day													
		1.99以上 2.15未満	140mg/day													
		2.15以上	150mg/day													
	内服制吐剤		プレピタントカプセ							•						
	その他前投薬	口不要 口必	必要に応じてデキ+	ナメ	タン	ブン	8m	gを	day2	2から	2日	間内	服			
	経口抗がん剤併用薬															
	フィルター	ロインライン	フィルターを使用す	ナる	)											
	備考															

<sup>&</sup>lt;投与期間> 4週間で1クール

### TAS102(ロンサーフ)+Bev療法

## <対象疾患>

## <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投	与ス	ケジ	ュー	ル				
	<b>米</b> 則石	12000年	点滴時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	15
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	L													
$\bigcirc$			15分	<b>1</b>													
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	l l													
	ベバシズマブ	5mg/kg	90分*	*													•
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	l l													
9			15分	*													*
		1.07未満	70mg/day														
		1.07以上 1.23未満	80mg/day														1
		1.23以上 1.38未満	90mg/day														1
		1.38以上 1.53未満	100mg/day														
4	ロンサーフ	1.53以上 1.69未満	110mg/day		•	•	•	•	•	休薬	休薬	•	•	•	•	•	木導
		1.69以上 1.84未満	120mg/day														1
		1.84以上 1.99未満	130mg/day														1
		1.99以上 2.15未満	140mg/day														į
		2.15以上	150mg/day														
	内服制吐剤		ププレピタントカプセ														
	その他前投薬	□不要 □必	必要に応じてデキ+	ナメ	タン	ブン	8m	gを	day	2から	2日	間内	服				
	経口抗がん剤併用薬																
	フィルター	ロインライン	フィルターを使用す	ナる	<u> </u>												
	備考																

<sup>&</sup>lt;投与期間> 4週間で1クール

#### Regorafenib単独療法

< 対象疾患>術後補助化学療法、手術不能または再発症例

#### <治療レジメン>

	薬剤名	体表面積	投与量						投.	与ス	ケジ	ュー	ル				
	采用石	<b>冲</b> 农 国 惧	<b>投</b> 子里	1	2	3	8	9	10	15	16	17	21	22	25	26	28
1	Regorafenib	160mg/day1	日1回経口投与										•		休	薬	
	内服制吐剤	☑不要															
	その他前投薬	☑不要															
	経口抗がん剤併用薬																
	備考																

<投与期間> 4週間で1クール

#### <備考欄>

•減量方法

用量調節段階	投与量
通常投与量	1日1回160mg
1段階減量	1日1回120mg
2段階減量	1日1回80mg

## 消化管間質腫瘍

#### GIST

<u>a.o.</u>			
レジメン名	薬品名	投与量	投与日
	<b>米</b> 배也	及了至	1   2   3   4   5   6   7   8   9   10   11   12   13   14   15   16   17   18   19   20   21   22   23   24   25   26   27   28
Imatinib単独療法	Imatinib	400mg/body	
連日	ク゛リヘ゛ック	400mg/body	連日経口投与、1日1回
レジメン名	薬品名	投与量	投与日
<b>レン</b> グン石	米加石	<b>汉</b> 子里	1 ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42
Sunitinib単独療法	Sunitinib	50mm /b a dv	
1クール42日	スーテント	50mg/body	4週間連日経口投与、1日1回 休薬

#### CBDCA+ETP療法

## <対象疾患>小細胞肺癌

#### く治療レジメン>

	コ原レファン/													
	薬剤名	投与量 投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	・ル	
	<b>米</b> 則石	投予里 	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	
(1)	グラニセトロン点滴静注3mg	100mL	点滴静注	1										
Û	デキサート注3.3mg	2A	30分	•										
2	生理食塩液	50mL	点滴静注		1									
2			15分		<b>→</b>	•								
3	生理食塩液	500mL	点滴静注	_										
9	エトポシド	100mg/m2	75分	<b>→</b>	<b>→</b>	<b>1</b>								
4	5%ブドウ糖	250mL	点滴静注	_										
4	カルボプラチン	AUC5	30分	1										
(5)	生理食塩液	50mL	点滴静注	_										
9			15分	<b>→</b>	<b>→</b>	1								
	内服制吐剤		タ アプレ											
	その他前投薬	口不要 ロテ	<del>゛</del> キサメタゾ	ン	淀8	mg	内原	仮を	day	2-37	まで	投薬		
	経口抗がん剤併用薬													•
	フィルター	☑インライン	フィルターを	-使	用	する	5							•
	備考		_											

#### CDDP+ETP療法

## <対象疾患>小細胞肺癌

## <治療レジメン>

		投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル	
	薬剤名	权于里	点滴時間	1	2	3	4	9	10	14	15	16	21	
(1)	生理食塩液	500mL	点滴静注	ı										
U	硫酸Mg補正液	0.4A	90分	•										
2	ソルデム3A	500mL	点滴静注	ı	lт	lт								
			90分	*	*	*								
3	20%マンニットール注	300mL	点滴静注	ı										
•			40分	*										
4	パロノセトロン点滴静注0.75mg		点滴静注	ı										
•	デキサート注3.3mg	2A	30分	*										
<b>4</b>	生理食塩液	100mL	点滴静注		Ţ	L	Ţ							
·	Sea Late		30分		Ľ	Ľ	Ľ							
⑤	5%ブドウ糖	250mL	点滴静注	1	ΙŢ	l l								
	ベプシド注	100mg/m2	60分	_	Ľ	Ľ								
<b>6</b>	生理食塩液	500mL	点滴静注	1										
	シスプラチン	80mg/m2	120分	_										
(7)	生理食塩液	500mL	点滴静注	1	↓	↓								
	4 m & 16 4		90分											
8	生理食塩液	500mL	点滴静注	1										
_			90分	ا م			 - ⊸°	L .			- 017			
	内服制吐剤	□不要 ☑必	)安 <i>ど ノ レ</i>		メン	<u>'\\</u>	<u>」ノ</u>	ひり	レ3 <b>は</b>	aysız	り収	九杏		
	その他前投薬	□不要 □テ												
	経口抗がん剤併用薬	☑化学療法院						ノ 飒	EIUn	igO動	<b>正月区</b> )	HJ		
	フィルター	☑インライン	ノイルダーで	_ [大	H	9 6	<u> </u>							
Ь.	備考													

<投与期間>

## CPT-11+CDDP療法

## <対象疾患>小細胞肺癌

## <治療レジメン>

		机上里	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	・ル	
	薬剤名	投与量	点滴時間	1	2	3	4	9	10	14	15		21	
(1)	生理食塩液	500mL	点滴静注	ı										
	硫酸Mg補正液	0.4A	90分	1										
2	生理食塩液	500mL	点滴静注	ı	1	ı								
2			90分	1	↓	1								
3	20%マンニットール注	300mL	点滴静注	_										
<b>3</b>			40分	<b>→</b>										
4		500mL	点滴静注	1										
4	デキサート注3.3mg	2A	30分	•										
<b>4</b> )'	生理食塩液	100mL	点滴静注		_	1	ı							
•	デキサート注3.3mg	2A	30分		•	•	•							
<b>⑤</b>	生理食塩液	500mL	点滴静注	ı										
9	シスプラチン注	60mg/m2	120分	*										
(3)	ラシックス注20mg	1A	側注	ı										
•				*										
<b>6</b>	生理食塩液	500mL	点滴静注	ı	lт	lı								
•	イシノテカン	60mg/m2	90分	*	Ľ	_								
(7)	生理食塩液	500mL	点滴静注	l.	L	l.								
•			90分	*	Ľ	_								
<b>(8</b> )	生理食塩液	500mL	点滴静注	1										
			90分		Ļ	Ļ.,		Щ			L 00			
	内服制吐剤	□不要 ☑必	多安 アフレ	<u>'L'</u>	タン	<u>'トフ</u>	<u>」ノ</u>	セノ	レ3da	ays/	7.服	Ln <del>-1.1-</del>		
	その他前投薬	口不要 口元												
	経口抗がん剤併用薬	☑化学療法院	開始時から	3 E	間	、ア	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	レヒ	ヹ゚タン	<b>小力</b>	プセ	ル内	1服。	オランザピン
	大口 (ענאטיי מיינו ロ コープリス	も嘔気予防で	で使用するこ	ع_	がる	ある	5 (米	唐原	病	(記	,			
	フィルター	☑インライン	フィルターを	₽使	用	する	5							
	備考													•

<投与期間>

3週間で1クール

### Atezolizumab + CBDCA + ETP療法(IMpower133) NEW

## <対象疾患>小細胞肺癌

## <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル		
	条則石 	<b>投</b> 分里	点滴時間	1	2	3	4	9	10	14	15	16	21		
(1)	生理食塩液	50mL	点滴静注	_											
$\cup$			15分	<b>→</b>											
(1)'	生理食塩液	50mL	点滴静注												
$\cup$	デキサート注3.3mg	1A	15分		↓	<b>→</b>									
2	生理食塩液	250mL	点滴静注	1											
2	テセントリク点滴静注	1200mg	60分*	<b>1</b>											
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	1											
9			15分	<b>→</b>											
4	グラニセトロン点滴静注3mg**	100mL	点滴静注	1											
•	デキサート注3.3mg	2A	30分	<b>→</b>											
<b>⑤</b>	生理食塩液 or 5%ブドウ糖	500mL	点滴静注	1	L	1									
9	ベプシド	100mg/m2	60分	<b>→</b>	\	<b>→</b>									
6	生理食塩液 or 5%ブドウ糖	250mL	点滴静注	1											
0	カルボプラチン	AUC5	60分	<b>→</b>											
7	生理食塩液	50mL	点滴静注	1		1									
$\mathcal{D}$			15分	•	\	<b>→</b>									
	内服制吐剤	☑化学療法院												服用	
		□不要 ☑ テ	゙゙キサメタゾ	ン	锭8	mg	内层	报を	day	2-47	まで	没薬			
	その他前投薬														
	フィルター	☑インライン				する	5								
	備考	*2回目以降(	は30分でも	可能	能					•	•		•		

#### <投与期間>

3週間で1クール4サイクル施行

## <備考欄>

5サイクル以降

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル	
	<b>米</b> 刖石	1女子里	点滴時間	1	2	3	4	9	10	14	15	16	21	
<b>1</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı										
$\Box$			15分	<b>→</b>										
2	生理食塩液	250mL	点滴静注	ı										
2	テセントリク点滴静注	1200mg	30分	<b>→</b>										
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı										
<u> </u>			15分	1										

#### CPT-11単独療法

## <対象疾患>小細胞肺がん

## <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル				
	<b>米</b> 則石	な ラ里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	24	25	26	28
1	パロノセトロン0.75mg	100mL	点滴静注	ı			_										
$\Box$	デキサート注3.3mg	2A	60分	1			1				<b>→</b>						
2	5%ブドウ糖液	500mL	点滴静注	ı			_										
2	イリノテカン	80mg/m2	90分	1			1				<b>→</b>						
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	_													
<b>3</b>			15分	1			1				<b>→</b>						
	内服制吐剤	☑不要	-														
	その他前投薬	☑不要															
	経口抗がん剤併用薬																
	フィルター	☑インライン	フィルターを	-使	用	する	5		•			•					
	備考								•			•			•		

<投与期間> 4週間で1クール

#### NGT単独療法

## <対象疾患>小細胞肺がん

## <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル				
	条則 <b>石</b>	10分里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	24	25	26	28
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı			_										
Û	デキサート注3.3mg	2A	30分	<b>→</b>			<b>→</b>				<b>→</b>						
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı			_										
2	ハイカムチン	1mg/m2	30分	<b>→</b>			<b>→</b>				<b>→</b>						
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı			_										
<b>3</b>			15分	<b>→</b>			<b>+</b>				•						
	内服制吐剤	☑不要	-														
	その他前投薬	☑不要															
	経口抗がん剤併用薬																
	フィルター	☑インライン	フィルターを	- 使	用	する	5				•						
	備考																

<投与期間> 4週間で1クール

### AMR単独療法 NEW

<対象疾患>小細胞肺がん、再発症例

#### く治療レジメン>

	1/5/レンテンプ								18					
	薬剤名	投与量	投与方法						<u>投</u>	<u>与ス</u>	<u>ケジ</u>	ュー	・ル	
	<b>米</b> 刖石	ひ 子里	点滴時間	1	2	3	4	8	9	14	15	16	21	
(1)	パロノセトロン	50mL	点滴静注	ı										
$\bigcirc$	デキサート注3.3mg	2A	30分	<b>→</b>										
2	生理食塩液	50mL	点滴静注		-									
<b>(</b>	デキサート注3.3mg	2A	30分		↓	1								
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı		ı								
(S)			15分	1	\	1								
4	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı	-									
	カルセド	40mg/m2	5分	<b>→</b>	<b>1</b>	<b>→</b>								
<b>⑤</b>	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı	-									
(3)			15分	<b>1</b>	\	1								
6	へ゜ク゛フィルク゛ラスチム	1筒	皮下投与				$\downarrow$							
	内服制吐剤	☑不要												
	その他前投薬	☑不要												
	経口抗がん剤併用薬													
	フィルター	☑インライン							•	•	•	•	•	
	備考	ヘ゜ク゛フィルク゛ラス	チムは必要Ⅰ	こ元	تاذ	て打	殳淳	<u> </u>	•	•	•	•	•	

<投与期間> 3週間で1クール

#### Alectinib単独療法

<対象疾患>ALK融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

#### く治療レジメン>

	薬剤名	投与量						投.	与ス	ケジ	ュー	ル				
	条	<b>汉</b> 子里	1	2	3	8	9	10	15	16	17	28	29	32	35	42
1	Alectinib アレセンサカプセル	1回300mg1日2回内服 連日投与 PDまで	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
	内服制吐剤	☑不要														
	その他前投薬	☑不要														
	経口抗がん剤併用薬															
	備考	代謝にCYP3A4が関わっ	って	い	30.	)で	注	意。「	間質	性肝	i炎な	こどに	二注意	意。		

#### Afatinib単独療法

<対象疾患>EGFR遺伝子変異陽性の切除不能な進行再発の非小細胞肺癌

#### <治療レジメン>

_	/口7京レファン /															
	薬剤名	投与量						投.	与ス	ケジ	ュー	・ル				
	采荆石 	<b>汉</b> 子里	1	2	3	8	9	10	15	16	17	28	29	32	35	42
1	Afatinib ジオトリフ	1回40mg1日1回内服 連日投与 PDまで	lacksquare	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•
	内服制吐剤	☑不要														
	その他前投薬	☑不要														
	経口抗がん剤併用薬															
	備考	1日1回空腹時内服														
		下痢、皮膚障害に注意。	゚゙゚	瘡	用质	と疹	っつ	治療	ξ指釒	<b>汁に</b>	従う。					

#### Osimertinib単独療法

<対象疾患>EGFR遺伝子変異陽性の切除不能または再発非小細胞肺癌

#### く治療レジメン>

	<u> </u>	投与量						投.	与ス	ケジ	ュー	ル				
	<b>米</b> 則石	<b>投</b> 分里	1	2	3	8	9	10	15	16	17	28	29	32	35	42
1	Osimertinib タグリッソ錠	1回80mg1日1回内服 連日投与 PDまで	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•
	内服制吐剤	☑不要														
	その他前投薬	☑不要														
	経口抗がん剤併用薬															
	備考	間質性肺炎、QT延長、							•	•						
		皮膚障害時には、ざ瘡原	用皮	经	の	治	尞捾	針	こ従	う。						

#### Gefitinib単独療法

<対象疾患>EGFR遺伝子変異陽性の切除不能または再発非小細胞肺癌

#### く治療レジメン>

	薬剤名	投与量						投-	与ス	ケジ	ュー	ル				
	<b>米</b> 則石	<b>汉</b> 子里	1	2	3	8	9	10	15	16	17	28	29	32	35	42
DCA	Gefitinib ゲフィチニブ錠	1回250mg1日1回内服 連日投与 PDまで	•	•	•	lacksquare	lacksquare	•	•	•	•	•	•		•	•
	内服制吐剤	☑不要	_						,							
	その他前投薬	☑不要														
	経口抗がん剤併用薬										•	•				
	備考	急性肺障害、間質性肺	炎[	こ注	E意	。食	後	:摂耶	又が望	望ま	しい。	0				

#### Erlotinib+Ramucirumab療法 NEW

<対象疾患>EGFR遺伝子変異陽性の切除不能な進行再発の非小細胞肺癌

#### <治療レジメン>

	<u> </u>										
	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジュール
	<del>米</del> 別石	1女子里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	
(1)	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı							
U			15分	1							
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı							
(2)	サイラムザ	10mg/kg	60分*	<b>→</b>							
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı							
9			15分	<b>→</b>							
<b>4</b>	Erlotinib	1回150mg1									
4	エルロチニブ	連日投与		)							
	内服制吐剤		プレピタン							服	
	その他前投薬	□不要 ☑ァ	ポララミン	注	5mg	(を	①r	中に	ΞIV		
	経口抗がん剤併用薬										
	フィルター	☑インライン									
	備考	*2回目以降(							•	·	
< 找	と与期間>	間質性肺炎、	皮膚障害	こう	主意	. 3	発疹	<b>∑</b> . ₹	ざ瘡	が強	く表れることが多いため、
2週	間で1クール	あらかじめ症	状などを訪	明	して	<u> (お</u>	<u>:&lt;</u>				

#### Durvalumab単独療法

<対象疾患>切除不能な局所進行の非小細胞肺癌における根治的化学放射線療法後の維持療法

#### く治療レジメン>

	コなレファン/									
	薬剤名	投与量	投与方法						投-	与スケジュール
	<b>米</b> 則石	投予里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14
(1)	生理食塩液	50mL	点滴静注	_						
Û			15分	<b>→</b>						
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	_						
2	イミフィンジ	10mg/kg	60分*	<b>→</b>						
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	_						
(S)			15分	<b>→</b>						
	内服制吐剤	口不要 ロア	プレピタン	トナ	<sub>」プ</sub> .	セル	レ3 l	3分	內	报
	その他前投薬	□不要 □ □	必要に応じ	て	<u>, -</u>	デキ	ーサ	. メ :	タゾ	ッツ8mg/dayを使用
	経口抗がん剤併用薬									
	フィルター	☑インライン:	フィルターを	-使	用	する	5			
	備考	*2回目以降(								
<找	设与期間>	間質性肺炎、	下痢、大肠	易公	έ, 1	型:	糖质	<b>尿病</b>	、甲	引状腺機能障害、副甲状腺機
2调	間で1クールで、12か月間まで	能低下症に	主意。							

#### Atezolizumab単独療法

#### <対象疾患>切除不能な進行再発の非小細胞肺癌

<治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル	
	<b>架</b> 則石	<b>投</b> 子里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	20	21	
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı										
Û			15分	<b>1</b>										
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı										
2	テセントリク	1200mg	60分*	•										
3	生理食塩液	50mL   点滴静注												
9		15分 ↓												
	内服制吐剤	□不要 □必	多要											
	その他前投薬	□不要 □必	》要											
	経口抗がん剤併用薬													
	フィルター	☑インライン												
	備考	*2回目以降/												
<找	35字期間>	間質性肺炎、		易烫	έ, 1	型:	糖质	尿症	<b>₹</b> 、₹	状	泉機	能障	害、	副甲状腺機
3週	間で1クールで、PDまで	能低下症に	主意。											

#### Nivolumab単独療法

<対象疾患>切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 2次治療以降

#### <治療レジメン>

	「撩レンメンク													
	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与スケジュール				
	<b>米</b> 則石	<b>投</b> 于里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14				
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı										
(I)			15分	<b>→</b>										
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı										
<b>(2</b> )	オプジーボ	240mg												
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	商静注										
9			15分	<b>→</b>										
	内服制吐剤	□不要 □必	夢											
	その他前投薬	□不要 □必	多要											
	経口抗がん剤併用薬													
	フィルター	☑インライン	フィルターを	一使	用	する	5							
	備考													
<找	8与期間>			易炎	έ, 1	型:	糖尿	<b>尿病</b>	,甲	甲状腺機能障害、副甲状腺機				
2週	間で1クールで、PDまで	能低下症に活	注意。											

#### Pembrolizumab単独療法

## <対象疾患>切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

<治療レジメン>

		投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	・ル	
	薬剤名	<b>投</b> 子里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	20	21	
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı										
$\Box$			15分	<b>→</b>										
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı										
2		200mg	30分	•										
3	生理食塩液	50mL   点滴静注												
9		15分 15分												
	内服制吐剤	□不要 □必	多要							,				
	その他前投薬	□不要 □必	》要											
	経口抗がん剤併用薬													
	フィルター	☑インライン	フィルターを	- 使	用:	する	<u> </u>							
	備考													
<找	と 与期間 >	間質性肺炎、		易炎	٤, 1	型:	糖原	尿疗	₹、拝	状服	泉機	能障	害、	副甲状腺機
3週	間で1クールで、PDまで	能低下症に活	注意。											

## Pembrolizumab単独療法

### <対象疾患>切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

<治療レジメン>

	「撩レンメンク																
	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル				
	采用石	ひ ラ里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	20	21	22	28	35	42
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı													
U			15分	<b>→</b>													
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı													
2	キイトルーダ	400mg	30分	<b>→</b>													
3	生理食塩液	50mL 点滴静注															
9		15分															
	内服制吐剤	□不要 □必	多要														
	その他前投薬	□不要 □必	多要														
	経口抗がん剤併用薬																
	フィルター	☑インライン:															
	備考	*2回目以降(															
<找	と   は   与期間   >	間質性肺炎、	下痢、大肠	易炎	٤, 1	型:	糖质	<b>尿病</b>	,甲	状服	泉機	能障	害、	副甲	状	腺機	N N
6週	間で1クールで、PDまで	能低下症に活	主意。														

#### DTX単独療法

<対象疾患>切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル			
	条 <b>刑</b> 石	<b>投</b> 子里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	15	16	17	21			
(1)	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı												
U	デキサート注3.3mg	2A	30分	•												
2	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注	ı												
2	ドセタキセル	70mg/m2	60分	<b>→</b>												
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı												
9			30分	<b>→</b>												
		☑必要	-											·		
	内服制吐剤	☑デキサメタ	ゾン錠8mg	(D	ay2	より	J31	引目	引):	2回	引以	降は	適宜	ľ		
	その他前投薬	☑不要 □必														
	フィルター	☑インライン	フィルターを	- 使	用:	する	5									
	経口抗がん剤併用薬								•	·	·	•	·		•	
	備考															

#### <投与期間>

3週間で1クール

#### <備考欄>

• 投与可否基準

好中球数	2000/mm3以上
血小板数	100,0000/mm3以上

投与中止

AST,ALT>1.5×ULNかつALP>2.5×ULN

#### GEM単独療法

<対象疾患>切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

#### く治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	・ル			
	<b>采</b> 則石	权分里	点滴時間	1	•	•	8	•	•	15	•	•	28			
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	_						_						
$\cup$	デキサート注射液3.3mg	2A	30分	1			<b>→</b>			<b>1</b>						
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	1			. 1			_						
2	ゲムシタビン(GEM)	1000mg/m2	30分	1			<b>→</b>			<b>→</b>						
3	生理食塩液	50mL	全開	_						_						
9			flash用	1			<b>→</b>			<b>→</b>						
	内服制吐剤	☑不要 □必														
	その他前投薬	☑不要 □必								•	•	•		•	•	
	フィルター	☑インライン	フィルターを	- 使	用	する	5									
	備考															

#### <投与期間>

- 4週間で1クール
- 3週投薬1週休薬(最終投与日の14日後に次クール開始可能)

#### <備考欄>

- ゲムシタビンの投与時間は60分以上になると毒性が増強する可能性があるため、30分で投薬する。
- 減量基準

血液学的毒性: Grade1-2→ 減量なし Grade3-4→ 1000mg/m2を800mg/m2に変更 悪心嘔吐: Grade1-2→ 減量なし Grade3-4→ 1000mg/m2を800mg/m2に変更 血清クレアチニン値: 基準量の1.5-2倍以上 1000mg/m2→800mg/m2に変更 非血液学的毒性(食欲不振、疲労、脱毛を除く) grade1 → 減量なし Grade2-4:1000→800mg/m2に減量

#### nab-PTX単独療法

<対象疾患>切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	・ル		
	条 用 石	投予里	点滴時間	1	•	•	8	•	•	15	•	•	21		
(1)	生理食塩液	50mL	点滴静注	1											
Û	デキサート注射液3.3mg	2A	30分	•			<b>→</b>			<b>→</b>					
2	生理食塩液	50mL	点滴静注	1			_								
2	アブラキサン	100mg/m2	30分	<b>→</b>			<b>→</b>			<b>→</b>					
3	生理食塩液	50mL	全開	_			_								
<b>3</b>			flash用	<b>→</b>			<b>→</b>			•					
	内服制吐剤	☑不要 □必	多要												
	その他前投薬	☑不要 □必													
	フィルター	☑インライン	フィルターを	ŀ使	用	した	こしょ		•	•	•			•	
	備考								•	•	•			•	

<投与期間> 3週間で1クール

<備考欄>

#### Pemetrexed単独療法

<対象疾患>切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

く治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	・ユー	-ル			
	<b>米</b> 則石	ひ ラ里	点滴時間	1	•	•	8	•	•	15	•		21			
1	グラニセトロン点滴静注バッグ3mg	100mL	点滴静注	1												
Û	デキサート注射液3.3mg	1A	30分	<b>→</b>												
2	生理食塩液	100mL	点滴静注													
2	ペメトレキセド	500mg/m2	10分	<b>→</b>												
3	生理食塩液	50mL	全開	ı												
9			flash用	<b>→</b>												
	内服制吐剤	☑不要 □必	〉要													
	その他前投薬	☑不要 □必														
	フィルター	ロインライン	フィルターを	ŀ使	用	する	5									
	備考	治療開始前一 始。投与開始	週間以上前 後、3週間 /	にパン	メチ	コノ	ڙ— 1/d	ル2 ayげ	A筋 N服、	注、/ 9週	パンt ごと!	ニタン こメチ	末1 <del>-</del> コバ	g/da ール	ay投 /1g筋	薬開

<投与期間> 3週間で1クール

#### S-1単独療法

## <対象疾患>術後補助化学療法、手術不能または再発症例

#### <治療レジメン>

	 薬剤名	体表面積	投与量						投.	与ス	ケジ	ユー	・ル				
	<b>米</b> 則石		ひ サ里	1	2	3	8	9	10	15	16	17	28	29		4	42
		1.25m2未満	40mg/回														
1	S-1	≥1.25,<1.5m	2 50mg/[	•									→		休	薬	
		1.5m2以上 (	30mg/回														
	内服制吐剤	☑不要															
	その他前投薬	☑不要															
	経口抗がん剤併用薬																
	備考																

<投与期間> 6週間で1クール

# <備考欄> ·減<u>量方法</u>

<u> </u>			
初回投与量	₹ 40mg	g/回 50mg/[	回 60mg/回
減量	休	————————————————————————————————————	. I <del></del>

#### VNR単独療法

## <対象疾患>切除不能な進行再発の非小細胞肺癌

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	・ル		
		投予里	点滴時間	1	•	•	8	•	•	15	•	•	21		
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı			_								
$\bigcirc$			30分	1			<b>V</b>								
2	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı			_								
2	ビノレルビン	500mg/m2	30分	1			<b>V</b>								
3	生理食塩液	50mL	全開	_											
9			flash用	1			<b>V</b>								
	内服制吐剤	☑必要なし	口必要あり	J											·
	その他前投薬	☑不要 □必													
	フィルター	☑インライン	フィルターを	使	用 <sup>·</sup>	する	5								
	備考														

<投与期間> 3週間で1クール

#### CDDP+PEM療法

## <対象疾患>非小細胞肺癌

## <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル	
	※ 別 位	な ラ里	点滴時間	1	2	3	4	8	10	14	15	16	21	
(1)	パロノセトロン点滴静注0.75mg	50mL	点滴静注	1										
Û	デキサート注3.3mg	3A	15分	•										
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı										
2	ペメトレキセド	500mg/m2	10分	<b>*</b>										
3	ソルデム3A	500mL	点滴静注	ı										
•	硫酸Mg補正液	0.4A	60分	*										
<b>4</b>	ソルデム3A	500mL	点滴静注	ı										
•			60分	*										
<b>⑤</b>	マンニットールS注	300mL	点滴静注	l.										
			40分	_										
<b>6</b>	生理食塩液	500mL	点滴静注	Ţ										
	シスプラチン	75mg/m2	60分	_										
(7)	ラシックス注	1A	側注	1										
	// TEL & 16 15			_										
8	生理食塩液	500mL	点滴静注	1										
			60分											
9	ソルデム3A	500mL	点滴静注	1										
	4.m. \$ 15.15		60分											
(10)	生理食塩液	50mL	点滴静注											
			60分		<u>ا</u>				384/	n+ 1-	- 017 C	D 10		の日人にし
	内服制吐剤										- 月又 月	日。唯	東気(	の具合によっ
		て、オランザ	こン延5mg(	リル	ᄪᅺ	<u> 기</u>	加入	<u>~</u> ₹	i / i lie i	几带		ル当	√ <del>5=</del> 2+	- 88 44 1 7
	その他前投薬					<u>r</u> aa	ıy2 <sup>-</sup>	-47	トピナ	又采	<b>.</b> 🗹 1	レ子	惊江	開始時、レス
		タミンコーワ				<del></del>	Z							
	フィルター	☑インライン									^			
	備考	治療開始前一	·週間以上前	(C)	メチ	٦/ <u>'</u>	<b>`</b> —	ル2	A筋	注、	パンヒ	ヹタン	·末1.	g/day投薬開
	2. تنام	始。投与開始	俊、3週間 <i>/</i>	シ	ピク	メン	1/d	ay₽	<b>小脱、</b>	9週	_ 21:	こメチ	コバ	一ル1g筋圧

<投与期間> 3週間で1クール

#### Ramucirumab+DTX療法

<対象疾患>切除不能な進行·再発非小細胞肺癌、二次治療以降

## <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	・ル	
	<b>采</b> 則石	<b>投</b> 分里	点滴時間	1	2	3	4	9	10	14	15	16	21	
	グラニセトロン	100mL	点滴静注											
1	デキサート注3.3mg	2A	15分	1										
	ポララミン注5mg*1	1A	1371											
2	生理食塩液	50mL	点滴静注	1										
2			15分	•										
3	生理食塩液	250mL	点滴静注	1										
9	サイラムザ	10mg/kg	60分*2	<b>→</b>										
<b>4</b>	生理食塩液	100mL	点滴静注	1										
4		(50mL)	60分*3	<b>1</b>										
<b>⑤</b>	5%ブドウ糖液	250mL	点滴静注	1										
9	ドセタキセル点滴静注	60mg/m2	60分	•										
<b>6</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	1										
0			15分	•										
												ルグ	]服。	オランザピン
	内服制吐剤	も嘔気予防で												
		□不要 ☑ テ						仮を	day	2-4	まで:	<u>投薬</u>		
	フィルター	☑インライン				_								
	備考	*1)またはレス					_	錠内	羽服					
		*2)2回目以图												
		*3)2回目以图												
		③は全量で2	250mLになる	3 <i>‡</i>	<b>う</b>	周整	Σ.							

<投与期間> 3週間で1クール <備考欄>

#### IMpower150

<対象疾患>扁平上皮がんを除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺がんの一次治療

#### <治療レジメン>

	<sup>1版レンバン</sup>   薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル	
	<b>柴</b> 則石	<b>投</b> 子里	点滴時間	1	2	3	4	8	10	14	15	16	21	
(1)	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı										
U			15分	<b>→</b>										
2	生理食塩液	250mL	点滴静注											
2	テセントリク	1200mg	60分*1	<b>→</b>										
	生理食塩液	50mL	点滴静注											
3	デキサート注3.3mg	3A	15分	$\downarrow$										
	ファモチジン静注20mg	1 <b>A</b>	, -											
<b>4</b>	パロノセトロン点滴静注	50mL	点滴静注	ı										
4			30分	<b>→</b>										
5	生理食塩液	100mL	点滴静注	lт										
_	ベバシズマブ	15mg/kg	90分*2	•										
<u>@</u>	生理食塩液	500mL	点滴静注	ı										
•	タキソール注	175mg/m2	180分	<b>→</b>										
(7)	生理食塩液	500mL	点滴静注	lт										
$\cup$	カルボプラチン	AUC6	60分	<b>→</b>										
(8)	生理食塩液	500mL	点滴静注	lт										
0			60分	•										
	  内服制吐剤										服月	目。嘔	≣気(	の具合によっ
	19加水型料	て、オランザ	ピン錠5mg(	のi	鱼加	功	服	を考	慮。					
	2.の仏並仏薬	ロデキサメタ	ゾン錠8mg	内	服を	-da	y2-	-33	きで打	殳薬.	<u>. 🗹 ′</u>	化学	療法	開始時、レス
	その他前投薬	タミンコーワ釘	錠10mg5錠	服月	Ħ									
	フィルター	☑インライン	フィルターを	・使	用	する	<u> </u>							
		*1)2回目は3	30分、3回目	以	.降	は3	0分	で	も可	能*2	2)2[	回目	は60	分、3回目以
	備考	降は30分でも	も可能											

<投与期間>

3週間で1クールで4コース

#### CDDP+PEM+Pembro療法

<対象疾患>扁平上皮がんを除く切除不能な進行·再発の非小細胞肺がんの一次治療

#### <治療レジメン>

	コ <i>惊レントン /</i> 	I	ポレナ汁						+几	与ス・	HSS		. 11	
	薬剤名	投与量	投与方法	4	۱ ۸	_	4			_				
	上 m & た オ		点滴時間	ı	2	3	4	8	10	14	15	16	21	
(1)	生理食塩液	50mL	点滴静注	J.										
•			15分	*										
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	1										
	キイトルーダ	200mg	30分	1										
<u> </u>	パロノセトロン点滴静注	50mL	点滴静注	ı										
3	デキサート注3.3mg	3A	15分	1										
	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı										
4	ペメトレキセド	500mg/m2	10分	Ţ										
<b>⑤</b>	ソルデム3A	500mL	点滴静注	1										
(5)	硫酸Mg補正液	0.4A	60分	1										
	ソルデム3A	500mL	点滴静注	_										
6			60分	Ţ										
	マンニットールS注	300mL	点滴静注											
7	71 77 72		40分	Ţ										
	生理食塩液	500mL	点滴静注	_										
8	シスプラチン	75mg/m2	60分	Ţ										
	ラシックス注	1A												
9	<u> </u>	.,,	側注	↓										
	生理食塩液	500mL	点滴静注											
10		COCINE	60分	Ţ										
	ソルデム3A	500mL	点滴静注											
11)	777 407	OOOME	60分	↓										
	 生理食塩液	500mL	点滴静注	_				$\vdash$						
12	工生及塩/区	JOUIIL	60分	1										
			プレドタン	トナ	<u>ا</u> آڻ:	71	ょち	<b>(1</b> )	胡炒	庄/-	- 用片 E		· 与 (	の具合によっ
	内服制吐剤	て、オランザ									-/JIX/	ייי סנו	<b>~</b> \	,, <del>,,,</del> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
	その他前投薬	口不要 口	ニナザメタゾ	ン:	缺8	mg	쓌	旧を	dav	2-37	まで	投薬		
	経口抗がん剤併用薬	☑化学療法												
	フィルター	2インライン						- 24		·0~3/	~/JK/			
	- 11-7	·				_		11.0	Λ <del>4</del> *	:÷ .	. ° > , L	<i>こと</i>	.± -	/
	備考	治療開始前一始。投与開始												
		知。	皮、3週间 /	ソ	( )	メノ	ı/d	ayı	ソカ区、	り廻い	_ < 1.	_ グナ	٦/١	一ルIg肋注

<投与期間> 3週間で1クール

#### CBDCA+PEM+Pembro療法

<対象疾患>扁平上皮がんを除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺がんの一次治療

#### <治療レジメン>

	<u> </u>	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル	
	<b>采</b> 則石	<b>投</b> 分里	点滴時間	1	2	3	4	8	10	14	15	16	21	
1	生理食塩液	50mL	点滴静注											
$\bigcirc$			15分	<b>→</b>										
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	lт										
	キイトルーダ	200mg	30分	*										
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	lı										
9			15分	<b>*</b>										
4	グラニセトロン点滴静注3mg	100mL	点滴静注	lт										
•	デキサート注3.3mg	2A	15分	*										
<b>⑤</b>	生理食塩液	100mL	点滴静注	П										
	ペメトレキセド	500mg/m2	30分	*										
6	生理食塩液	250mL	点滴静注	П										
•	カルボプラチン	AUC6(5)	60分	*										
(7)	生理食塩液	50mL	点滴静注	П										
$\cup$			15分	*	Ļ									
	内服制吐剤	☑化学療法										_		服用
		□不要 ☑ 元												
	その他前投薬	□化学療法						フ鈸	10n	าg5ฐ	定服	用		
	フィルター	☑インライン	フィルターを	F使	用	する	<u>5</u>						- 8 7	
														ン末1g/day
	備考	投薬開始。投		3	週間	引 .	パご	ンビ	タン	1/da	y内	服、	9週こ	ごとにメチコ
		バール1g筋注	<u> </u>											

<投与期間> 3週間で1クール

#### CBDCA+PTX+Pembro療法

## <対象疾患>進行非小細胞肺癌

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル	
	<b>米</b> 則石	な ラ里	点滴時間	1	2	3	4	8	10	14	15	16	21	
(1)	生理食塩液	50mL	点滴静注											
Û			15分											
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı										
	キイトルーダ	200mg	30分	*										
	生理食塩液	50mL	点滴静注											
3	デキサート注3.3mg	2A	15分	↓										
	ファモチジン静注20mg	1A	, -											
(1)	パロノセトロン点滴静注	50mL	点滴静注											
Û			15分											
<b>4</b>	生理食塩液	500mL	点滴静注	ı										
	タキソール注	200mg/m2	180分	*										
<b>(5)</b>	生理食塩液	500mL	点滴静注	l.										
	カルボプラチン	AUC6	60分	*										
<b>6</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注											
•			15分											
	内服制吐剤	口不要 口必												
	その他前投薬	□不要 ☑ テ	゠゙゙キサメタゾ	ン	淀8	mg	内原	仮を	day	2-47	まで	投薬		
			タミンコーワ											
	経口抗がん剤併用薬	☑化学療法院						りプ	セル	を服	開し	ر 3	日間	服用
	フィルター	☑インライン	フィルターを	₽使	用	する	<u>5</u>							
	備考													
	III													

<投与期間> 3週間で1クール

#### Nivolumab+Ipilimumab+CBDCA+Pemetrexed療法

## <対象疾患>進行非小細胞肺癌

#### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法													
	<b>采</b> 則石	12分里	点滴時間	1	2	3	4	8	10	14	15	16	21			
(1)	生理食塩液	50mL	点滴静注													
$\bigcirc$			15分	•												
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı												
	オプジーボ	360mg	30分	*												
3	生理食塩液		ı													
9			15分	*												
4	生理食塩液	100mL	点滴静注	٦L												
•	ヤーボイ	1mg/kg	30分	*												
<b>⑤</b>	パロノセトロン点滴静注	50mL	点滴静注	ı												
•	デキサート注3.3mg	2A	15分 *													
6	生理食塩液	500mL	点滴静注	ı												
	ペメトレキセド	500mg/m2	60分	*												
7	生理食塩液	500mL	点滴静注	J.												
•	カルボプラチン	AUC5-6	60分	*												
(8)	生理食塩液	50mL	点滴静注	l.												
			15分	*												
	内服制吐剤	口不要 口必		,	A.L							( <del>n 41</del>				
	その他前投薬	□不要 ☑元														
	経口抗がん剤併用薬	☑化学療法						りブ	セル	を肌	が 用し	<u>,, 3</u>	日間	服用		
	フィルター	☑インライン	フィルターを	使	用	する	<u>ာ်</u>									
	  備考	治療開始前一														
	NH -C	始。投与開始	後、3週間 /	ペン	ビク	ヌン	1 / da	ay₽	]服、	9週	ニとに	こメチ	ーコバ	ール1g筋注		

## <投与期間>

3週間で1クール。⑤と⑥は2クールのみ実施。3クール以降は②を3週おき、④を6週おきに行う。

#### Nivolumab+Ipilimumab+CBDCA+Pemetrexed療法

## <対象疾患>進行非小細胞肺癌

## <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法													
	条則 <b>石</b>	12分里	点滴時間	1	2	3	4	8	10	14	15	16	21			
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı												
U			15分	1												
2	生理食塩液	100mL	点滴静注													
2	オプジーボ	360mg	30分	<b>V</b>												
3	生理食塩液	夜   100mL   点滴静泡	点滴静注													
9			15分													
4	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı												
•	ヤーボイ	1mg/kg	30分	*												
(5)	パロノセトロン点滴静注	50mL		点滴静注 📗												
•	デキサート注3.3mg	2A	15分													
6	生理食塩液	500mL	点滴静注	$\lfloor \rfloor \rfloor$												
0	タキソール注	200mg/m2	180分	<b>→</b>												
7	生理食塩液	500mL	点滴静注	ı												
$\mathcal{D}$	カルボプラチン	AUC6	60分	*												
(8)	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı												
•			15分	*												
	内服制吐剤	□不要 □必	-													
	その他前投薬	□不要 ☑ テ														
	経口抗がん剤併用薬	☑化学療法院						<u>りプ</u>	セル	を服	囲し	<u>,, 3</u>	日間	服用		
	フィルター	☑インライン	フィルターを	使	·用	する	5									
治療開始前一週間以上前にメチコバール2A筋注、パンビタン末1g/day技 備考																
		וממוד או יייו	久、○四回 /	ر.	_ /		1 / U	uyp	י אווי נ	U <u>/ E3</u> (	'	_,,		7 V 180/1/I		

#### <投与期間>

3週間で1クール。⑤と⑥は2クールのみ実施。3クール以降は②を3週おき、④を6週おきに行う。

#### Atezolizumab+CBDCA+ETP療法

<対象疾患>切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

## <治療レジメン>

	 薬剤名	投与量	投与方法 投与スケジュール											
	<u> </u>		点滴時間	1	2	3	4	8	10	14	15	16	21	
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı										
$\cup$			15分	1										
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı										
<b>(2</b> )	テセントリク	1200mg	60分*	<b>→</b>										
3	生理食塩液	100mL	点滴静注	_										
9			15分	<b>1</b>										
4	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı										
	ヤーボイ	1mg/kg	30分	•										
<b>⑤</b>	グラニセトロン静注3mg	100mL	点滴静注	ı										
9	デキサート注3.3mg	2A	30分											
6	生理食塩液	50mL	点滴静注											
0	ロゼウス注	25mg/m2	5分	<b>*</b>										
(7)	生理食塩液	500mL	点滴静注	ı										
$\mathcal{O}$	カルボプラチン	AUC6	60分	*										
8	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı										
9			15分	•										
	内服制吐剤	□不要 □必												
	その他前投薬		<del>゙</del> キサメタゾ											
	経口抗がん剤併用薬	☑化学療法						<u>」プ</u>	セル	を服	用し	<u>,, 3</u>	日間	服用
	フィルター	☑インライン	フィルターを	·使	·用·	する	5							
	備考	*2回目以降(	は30分で。											
	C, min	= = = :>:\-												

#### <投与期間>

3週間で1クール。⑤と⑥は2クールのみ実施。3クール以降は②を3週おき、④を6週おきに行う。

#### Atezolizumab+CBDCA+PEM療法 NEW

<対象疾患>扁平上皮がんを除く切除不能な進行·再発の非小細胞肺癌

## <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル	
	<b>采</b> 則石	ひ ラ里	点滴時間	1	2	3	4	8	10	14	15	16	21	
(1)	生理食塩液	50mL	点滴静注	Ė										
U			15分											
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	1										
2	テセントリク	1200mg	60分*	•										
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	1										
9		15分	15分	<b>1</b>										
5	パロノセトロン静注3mg		ı											
9	デキサート注3.3mg	2A	30分	<b>*</b>										
6	5%ブドウ糖液	250mL	点滴静注	ı										
•	カルボプラチン	6AUC	60分	*										
7	生理食塩液	500mL	点滴静注	ı										
$\cup$	ペメトレキセド	500mg/m2	10分	*										
(8)	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı										
•			15分	*										
		☑化学療法												服用
	F 37/K (1) 32 77 3	□不要 ☑ ラ	<u>゙</u> キサメタゾ	ン	淀8	mg	内	仮を	day	2-4	まで	<u>投薬</u>		
	その他前投薬													
	フィルター	☑インライン	フィルターを	₽使	用	する	<u> </u>							
	備考	治療開始前一 始。投与開始												

\_\_\_\_ <投与期間> 3週間で1クール。

### CDDP+GEM+Pembro療法

<対象疾患>扁平上皮がんの非小細胞肺癌における術前·術後補助療法

# く治療レジメン>

Y	<u> &lt;</u> 活	音療レジメン>	-												
(1) 生理食塩液		蓝刘夕	机上星	投与方法						投.	与ス・	ケジ	ュー	・ル	
①   生理食塩液   50mL   点滴静注   1   1   1   1   1   1   1   1   1		<b>柴</b> 則石	(大子里 		1	2	3	4	8	10	14	15	16	21	
(a) 生理食塩液	1	生理食塩液	50mL	点滴静注	1										
デキサー注3.3mg	U			15分	1										
デキサート注3.3mg	<b>(1)</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注											
世理食塩液   50mL   点滴静注   30分   30分   30分   4   4   4   4   4   4   4   4   4	$\bigcirc$	デキサート注3.3mg	2A(1A)	15-30分				\	↓						
<ul> <li>① デキサート注3.3mg</li></ul>		牛理食塩液													
プリンペラン注	<b>①</b> "	デキサート注3.3mg				1	1								
② 生理食塩液 100mL 点滴静注 ↓ 1		プリンペラン注		30分		ľ	ľ								
全理食塩液   50mL   点滴静注				点滴静注											
(3) 生理食塩液	(2)	キイトルーダ			↓										
(4) パロノセトロン点滴静注 50mL 点滴静注 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓															
4 パロノセトロン点滴静注 50mL 点滴静注 15分	(3)	工程及温水	JOHL		↓										
(3) デキサート注3.3mg 3A 15分	_	パロノわトロン占海熱注	50ml		_										
(5) 生理食塩液	4				$\downarrow$										
S   ゲムシタビン   1000mg/m2   30分   1   1   1   1   1   1   1   1   1															
(6)	<b>⑤</b>	<u> 土埕良塩水</u>			$\downarrow$	_		_	↓						
<ul> <li>・ 硫酸Mg補正液</li> <li>クルデム3A</li> <li>500mL</li> <li>点滴静注 は0分</li> <li>・ セ理食塩液</li> <li>・ シスプラチン 75mg/m2 60分</li> <li>・ ラシックス注</li> <li>1A</li> <li>側注 は2</li> <li>・ クラシックス注</li> <li>・ クロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>		<u>ソ ムンダレン</u>													
フルデム3A   500mL   点滴静注   60分   40分   60分   6	6	フルナム3人			1										
(B) マンニットールS注 300mL 点滴静注 ↓ 40分 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓															
<ul> <li>③ マンニットールS注 300mL 点滴静注 40分 40分 40分 40分 40分 40分 40分 40分 40分 40分</li></ul>	7	フルテム3A	DUUML		$\downarrow$										
(3) 生理食塩液 500mL 点滴静注 シスプラチン 75mg/m2 60分 1A 側注 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓			000 1		_		_								
(9)       生理食塩液       500mL       点滴静注       ↓         シスプラチン       75mg/m2       60分       ↓         (10)       生理食塩液       500mL       点滴静注       ↓         (10)       生理食塩液       500mL       点滴静注       ↓       ↓         (13)       生理食塩液       500mL       点滴静注       ↓       ↓       ↓         (13)       生理食塩液       50mL       点滴静注       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓       ↓	(8)	マンーツトール5注	300mL	40分	ר  ↓										
9   シスプラチン   75mg/m2   60分		4 m & 16 4													
1	<b>9</b>	生埋食温液			Ţ										
(明)				60分											
(1) 生理食塩液 500mL 点滴静注	(10)	フシックス注	1A	側注	Ţ										
(1)		11 FE A 16 34			_										
(2) ソルデム3A 500mL 点滴静注	(11)	生埋食塩液	500mL		1	Ţ	L								
(3) 生理食塩液 500mL 点滴静注 1 00分					_	Ľ	Ľ								
3	( <del>12</del> )	ソルデム3A	500mL		Ţ	J.	J.								
60分					*	Ľ	_*								
13   生理食塩液   50mL   点滴静注   175ッシュ   1   1   1   1   1   1   1   1   1	(13)	生理食塩液	500mL		ı										
フラッシュ   フラッシュ   フラッシュ   フラッシュ   フラッシュ   フラッシュ   ファッシュ   ファッシュ   ファッシュ   ファッシュ   ファッシュ   ファッシュ   ファッシュ   ファッシュ   ファッシュ   ファッション   ファッシ	10				*										
ファッシュ   ファッシュ   ファッシュ   ファッシュ   ファッシュ   ファッシュ   ファッシュ   ファッション   ファッショ	<b>13</b> )'	生理食塩液	50mL	点滴静注					$\lfloor 1 \rfloor$						
内服制吐剤       て、オランザピン錠5mgの追加内服を考慮。         □不要       □デキサメタゾン錠8mg内服をday2-3まで投薬         その他前投薬       □化学療法開始時、レスタミンコーワ錠10mg5錠服用         フィルター       ☑インラインフィルターを使用する         備考       □インラインフィルターを使用する	UJ)			フラッシュ											
□不要         □デキサメタゾン錠8mg内服をday2-3まで投薬           その他前投薬         □化学療法開始時、レスタミンコーワ錠10mg5錠服用           フィルター         ☑インラインフィルターを使用する           備考         □			て、オランザピン錠5mgの追加内服を考慮。									り具合によっ			
その他前投薬 □化学療法開始時、レスタミンコーワ錠10mg5錠服用 □イルター □インラインフィルターを使用する □ 備考		内服制吐剤													
フィルター ☑ インラインフィルターを使用する 備考															
備考															
		フィルター	☑インライン	フィルターを	₽使	用	する	<u>5</u>							
		備者													

<投与期間> 3週間で1クール

# CDDP+VNR療法

<対象疾患>stageⅢおよびⅣの非小細胞肺癌

### く治療レジメン>

	<b>可様レンメン</b> タ		投与方法 投与スケジュール												
	薬剤名	投与量	投与方法												
	77.7.7.		点滴時間	1	2	3	4	8	10	14	15	16	21		
1	パロノセトロン点滴静注	50mL	点滴静注	1											
$\bigcirc$	デキサート注3.3mg	3A	15分	<b>*</b>											
1)'	生理食塩液	50mL	点滴静注				lı	H							
Û	デキサート注3.3mg	2A	15-30分				*	•							
_	生理食塩液	50mL	点滴静注												
1)"	デキサート注3.3mg	2A	30分		↓	$\downarrow$									
	プリンペラン注	1A													
2	生理食塩液	50mL	点滴静注	1				_							
2	ロゼウス	25mg/m2	5分	<b>1</b>				\							
3	ソルデム3A	500mL	点滴静注	1											
3	硫酸Mg補正液	0.4A	60分	<b>+</b>											
4	ソルデム3A	500mL	点滴静注	ı											
•			60分	<b>→</b>											
<b>⑤</b>	マンニットールS注	300mL	点滴静注	1											
(3)			40分 *												
6	生理食塩液	500mL0.5袋	点滴静注 60分 ↓												
0	シスプラチン	80mg/m2													
(7)	ラシックス注	1A	側注	ı											
$\mathcal{O}$					<b>→</b>										
(8)	生理食塩液	500mL	点滴静注	ı		ı									
0			60-90 分	<b>→</b>	1	<b>→</b>									
9	ソルデム3A	500mL	点滴静注	1		_									
9			60-90 分	<b>→</b>	\	<b>→</b>									
(10)	生理食塩液	500mL	点滴静注	1											
(IU)			60分	1											
(10)°	生理食塩液	100mL	点滴静注												
(II)			フラッシュ					↓							
		□不要 ☑ア									服月	月。唱	显気(	の具合によっ	
	内服制吐剤	て、オランザ	ごン錠5mg(	かi	旦加	]内	服	<u>を</u> 孝	慮。		L '	<del></del>			
		□不要 □デキサメタゾン錠8mg内服をday2-3まで投薬													
	その他前投薬	□化学療法開始時、レスタミンコーワ錠10mg5錠服用													
	フィルター	☑インライン	2インラインフィルターを使用する												
	  備考														
	▎ ▘▘▘▗▗▗▗▗▗▗▗ ▗▘▘														

<投与期間> 3週間で1クール

### CMF(CPA+MTX+5FU)療法

# <対象疾患>術後化学療法

### く治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール													
	※ 別 位	<b>投</b> 子里	点滴時間	1	2	3	4	8	9	14	15	16	21	23	25	27	28
(1)	グラニセトロン	100mL	点滴静注														
Û	デキサート注3.3mg	3A	15分	↓				\									
2	生理食塩液	100mL	点滴静注														
٧	メトトレキサート	40mg/m2	20分	•				↓									
3	生理食塩液	250mL	点滴静注														
9	5FU	600mg/m2	20分	<b>1</b>				↓									
<b>4</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注														
•			15分	•				\									
<b>⑤</b>	エンドキサン錠	100mg/m2	1日1回 内服	•	•	•	•	•	•	•			乜	木薬			
	内服制吐剤	□不要 □必															
	その他前投薬	□不要 ☑ ラ	デキサメタゾ	ン鼠	定8r	ng[	内肌	を	day2	2-3、	day	9-10	まで	投導	lwl/		
	经口持续人到供出来	☑化学療法	開始時から	3日	間.	、ア	゚゙プ゚゚เ	ノピ	゚タン	トカ	プセル	ル内	服。:	オラ	ンサ	<u>ُ</u> كْ:	· /
	経口抗がん剤併用薬	☑化学療法開始時から3日間、アプレピタントカプセル内服。オランザピンをday1-6に5mg内服(糖尿病禁忌)。															
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する															
	備考									•	•		•	•			

<投与期間>

4週間で1クール

# <備考欄>

CPA: 腎機能低下症例に対する減料の目安

GFR(mL/min)	<10
	25%減量
CPA: 肝機能低下症例に対する	減量の目安
T~Bil(mg/dL) or AST	投与量
3.1 ~ 5.0 or >3 × ULN	25%減量
> 5.0	中止

#### MTX

MTX: 腎障害時の減量の目安

<u>WITA: 有样日的 20/18 至 20 日                                 </u>		
CCr(mL/min)	46~60	31~45
	35%減量	50%減量

MTX: 肝障害時の減量の目安

T~Bil(mg/dL) or AST	投与量
$3.1 \sim 5.0 \text{ or } > 3 \times \text{ULN}$	25%減量
> 5.0	中止

### FEC(5FU+EPI+CPA)療法

# <対象疾患>術後化学療法

# <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル	
	<b>采</b> 則石	权分里	点滴時間	1	2	3	4	8	9	14	15	16	21	
(1)	パロノセトロン	50mL	点滴静注											
Û	デキサート注3.3mg	3A	30分	<b>→</b>										
2	生理食塩液	50mL	点滴静注	1										
2	エピルビシン	100mg/m2		<b>→</b>										
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı										
9			15分	*										
<b>4</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	lı										
•	5FU	500mg/m2		15分										
(5)	生理食塩液	50mL		点滴静注										
9	エンドキサン	500mg/m2		*										
<b>6</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı										
0			15分	•										
	内服制吐剤	□不要 □必												
	その他前投薬	□不要 ☑ ラ	デキサメタゾ	<u>ン</u> 釒	<u> 定8r</u>	ng	内肌	<u>を</u>	day2	2-3ま	で打	<u> 楽</u>		
	タロサバ/ 刘併 田本	☑化学療法	開始時から	日	間、	ア	プレ	ノピ	タン	トカフ	プセル	ル内	服。	オランザピン
	経口抗がん剤併用薬	をday1-6に5mg内服(糖尿病禁忌)。												
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する												
	備考													

<投与期間> 3週間で1クール

# <備考欄>

CPA: 腎機能低下症例に対する減料の目安

GFR(mL/min)	<10
	25%減量
CPA: 肝機能低下症例に対する	減量の目安
T~Bil(mg/dL) or AST	投与量
$3.1 \sim 5.0 \text{ or } > 3 \times \text{ULN}$	25%減量
> 5.0	中止

T~Bil(mg/dL) or AST	投与量
1.2~ 3.0 かつ2~4×ULN	50%減量
31~50 >4×UIN	75%減量

### DTX単独療法

# <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル		$\Box$
	<b>采</b> 則石	权分里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	15	16	17	21		
(1)	生理食塩液	100mL	点滴静注												
Û	デキサート注3.3mg	2A	30分	•											
2	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注	1											
2	ドセタキセル	60mg/m2	60分	<b>→</b>											
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	1											
9			15分	<b>→</b>											
		☑必要	-											·	
	内服制吐剤	☑デキサメタ	マゾン錠8mg(	(Da	y2	より	13 E	間	) 2		以肾	锋は:	適宜		
	その他前投薬	☑不要 □必要													
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する													
	経口抗がん剤併用薬														
	備考														

<投与期間> 3週間で1クール

<備考欄> • <u>投与可否基準</u>

<u> </u>	
好中球数	2000/mm3以上
血小板数	100,0000/mm3以上

投与中止

AST,ALT>1.5×ULNかつALP>2.5×ULN

# weekly PTX単独療法

# <対象疾患>術後化学療法、転移再発症例

# <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法					投与スケジュール			
	条 <b>用</b> 石	<b>投</b> 子里	点滴時間	1	2	3	7				
	生理食塩液	50mL	点滴静注								
1	デキサート注3.3mg	2A	15分	$\downarrow$							
	ファモチジン静注用20mg	1A									
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı							
2			30分	•							
3	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注								
9	タキソール	80mg/m2	60分	<b>→</b>							
<b>4</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注								
4			15分	<b>→</b>							
		☑必要	-								
	内服制吐剤							3間)2回目以降は適宜			
		☑①点滴中	にレスタミン	錠:	錠	内朋	艮				
	その他前投薬	☑不要 □娰									
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する									
	経口抗がん剤併用薬										
	備考							•			

<投与期間> 1週間で1クール

### <備考欄>

白血球数又は好中球数が以下の基準に当てはまれば回復するまで投与を延期

	白血球	好中球
初回コース	3,000mm3未満	1,500mm3未満
同一コース	2,000mm3未満	1,000mm3未満

### 減量の目安

減量段階	投与量
通常投与量	80mg/m2
1段階減量	60mg/m2

AST•ALT	T∼Bil(mg/dL)	投与量
10×ULN未満	かつ 1.26~ 2.0×ULN	25%減量
10×ULN未満	かつ 2.01~ 5.0×ULN	50%減量
10×ULN以上	かつ 5.0×ULNを超える	中止

### weeklyPTX+Trastuzumab療法

# <対象疾患HER2陽性の手術不能または再発乳癌

# <治療レジメン>

		投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル				
	<b>米</b> 則石	12000年	点滴時間	1	2	3	7	8	10	15	16	17	21	23	25	27	28
(1)	生理食塩液	50mL	点滴静注										ı				
U			15分	•				<b>→</b>		<b>1</b>			•				
2	生理食塩液	50mL	点滴静注	1													
2	トラスツズマブ	4mg/kg	90分	<b>1</b>													
2	生理食塩液	50mL	点滴静注					ı		1			ı				
	トラスツズマブ	2mg/kg	90分					<b>*</b>		•			•				
	生理食塩液	50mL	点滴静注														
3	デキサート注3.3mg	2A	15分	$\downarrow$				$\downarrow$		. ↓							
	ファモチジン静注用20mg	1A															
<b>4</b>	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı				ı									
			30分	*				*		•							
<b>⑤</b>	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注	ı				П									
9	タキソール	80mg/m2	60分	*				*		•							
<b>6</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı				ı					1				
0			15分	*				•		*			•				
		☑必要															
	内服制吐剤	☑デキサメタ						3間	) 2	回目	以降	锋は:	適宜				
		☑③点滴中		錠:	錠	内朋	艮										
	その他前投薬	☑不要 □娰															
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する															
	経口抗がん剤併用薬																
	備考																

# <投与期間>

4週間で1クール

# <備考欄>

白血球数又は好中球数が以下の基準に当てはまれば回復するまで投与を延期

	白血球	好中球
初回コース	3,000mm3未満	1,500mm3未満
同一コース	2,000mm3未満	1,000mm3未満

減量の目安

減量段階	投与量
通常投与量	80mg/m2
1段階減量	60mg/m2

	<u> </u>	
AST•ALT	T∼Bil(mg/dL)	投与量
	かつ 1.26~ 2.0×ULN	25%減量
10×ULN未満	かつ 2.01~ 5.0×ULN	50%減量
10×ULN以上	かつ 5.0×ULNを超える	中止

### VNR単独療法

### <対象疾患>手術不能または再発乳がん

### く治療レジメン>

	薬剤名	投与量	豊 投与方法							投与スケジュール								
		权子里	点滴時間	1	•	•	8	•	•	15	•	•	21					
1	生理食塩液	50mL	点滴静注				1											
Û			30分	<b>V</b>		П₁	<b>→</b>											
2	生理食塩液	50mL	点滴静注				_											
2	ビノレルビン	500mg/m2	30分	•			<b>→</b>											
3	生理食塩液	50mL	全開	_			1											
9			flash用	<b>→</b>			<b>→</b>											
	内服制吐剤	☑必要なし	□必要あり													·		
	その他前投薬	☑不要 □必要																
	フィルター	ロインライン	☑インラインフィルターを使用する															
	備考										•	•		•	•			

# <投与期間>

3週間で1クール

### <備考欄>

好中球数低下症例に対する減量の目安

投与日の好中球数(/mm3)	投与割合
≧1,500	100%
1,000~1,499	50%
<1,000	投与延期

好中球数が1500未満の時に発熱 and/or敗血症が発生した場合、もしくは好中球数減少のために2週間の投与延期となった場合

>1,500	75%
1,000~1,499	38%
<1,000	投与延期

肝機能低下症例に対する減量の目安

	<u> </u>
T-Bil	VNR投与量
2.1~3.1mg/dL	50%減量
>3.0mg/dL	75%減量

100mL

### EC(EPI+CPA)療法

# <対象疾患>術後化学療法

# <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投	与ス	ケジュール
	<b>米</b> 則石	投予里	点滴時間	1	2	3	4	8	9	14	
(1)	パロノセトロン	50mL	点滴静注	1							
$\Box$	デキサート注3.3mg	3A	30分	<b>→</b>							
2	生理食塩液	50mL	点滴静注								
2	エピルビシン	90mg/m2	20分	•							
3	生理食塩液	50mL	点滴静注								
9			15分	<b>→</b>							
<b>4</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	ı							
•	エンドキサン	600mg/m2		•							
<b>⑤</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	1							
9			15分	•							
	内服制吐剤	□不要 □必									
	その他前投薬	□不要 ☑ ラ	デキサメタゾ	ン鉱	定8r	ng[	内肌	を	day2	<u>2</u> −4≢	で投薬
	<b>双口针形/刘伊田</b> 莱	☑化学療法	開始時から	日	間、	ア	プレ	ノピ	タン	トカ	プセル内服。オランザピン
	経口抗がん剤併用薬	をday1-6に5mg内服(糖尿病禁忌)。									
	フィルター	☑インライン	フィルターを使用する								
	備考										

<投与期間> 2週間で1クール

# <備考欄>

CPA:腎機能低下症例に対する減料の目安

GFR(mL/min)	<10
	25%減量
CPA: 肝機能低下症例に対する	減量の目安
T~Bil(mg/dL) or AST	投与量
3.1 ~ 5.0 or >3 × ULN	25%減量
> 5.0	中止

T~Bil(mg/dL) or AST	投与量
1.2~ 3.0 かつ2~4×ULN	50%減量
3.1~ 5.0 >4×ULN	75%減量

### S-1単独療法

# <対象疾患>術後化学療法

# <治療レジメン>

	薬剤名	体表面積	投与量・						投.	与ス	ケジ	ュー	ル			
	(本) (米川石 		山傾   汉子里	1	2	3	8	9	10	15	16	17	28	29		42
	1.25m2未満 40mg/回															
1	S-1	≧1.25,<1.5m2 50mg/回										→		休導	Ē	
		1.5m2以上 60	Omg/回													
	内服制吐剤	☑不要														
	その他前投薬	☑不要														
	経口抗がん剤併用薬															
	備考								•	•	•	•		•	•	_

<投与期間> 6週間で1クール

<備考欄> ・減<u>量方法</u>

~ <del></del>			
初回投与量	40mg/回	50mg/回	60mg/回
減量	休薬	40mg/回 →中止	50mg/回 →40mg/回 →中止

# 腎機能低下時の減量基準

≧80	減量なし
60~80	必要に応じて1段階減量
30~60	1段階以上の減量(2段階が望ましい)
<30	投与中止

### GEM単独療法 NEW

#### <対象疾患>術後化学療法

### <治療レジメン>

	遊刘夕	薬剤名 投与量 投与方法 投与スケジュール													
	条則石	<b>投</b> 于里	点滴時間	1	•	•	8	•	•	15	•	•	28		
(1)	生理食塩液	100mL	点滴静注	_			1								
Û		2A	30分	1			<b>→</b>								
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	_			_								
2	ゲムシタビン(GEM)	1250mg/m2		•			<b>→</b>								
3	生理食塩液	50mL	全開	_			1								
<b>3</b>			flash用	1			<b>→</b>								
	内服制吐剤	☑必要なし	□必要												
	その他前投薬	☑不要 □必要													
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する													
	備考														

### <投与期間>

- 3週間で1クール
- 3週投薬1週休薬(最終投与日の14日後に次クール開始可能)

#### <備考欄>

- ゲムシタビンの投与時間は60分以上になると毒性が増強する可能性があるため、30分で投薬する。
- 減量基準

血液学的毒性: Grade1-2→ 減量なし Grade3-4→ 1000mg/m2を800mg/m2に変更 悪心嘔吐: Grade1-2→ 減量なし Grade3-4→ 1000mg/m2を800mg/m2に変更 血清クレアチニン値: 基準量の1.5-2倍以上 1000mg/m2→800mg/m2に変更 非血液学的毒性(食欲不振、疲労、脱毛を除く) grade1 → 減量なし Grade2-4:1000→800mg/m2に減量

### Capecitabine単独療法

# <対象疾患>術後化学療法

#### く治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法		投与スケジュール									
	采用石	<b>投</b> 子里	点滴時間	1	2	3	8	9	10	14	15	16 21		
	カペシタビン	1.36m2未満 1200mg/回												
(1)		1.36m2- 1.66m2	1500mg/ 回	•							<b>→</b>	人 休薬		
		1.66-1.96m 2												
		1.96m2以	2100mg/											
	内服制吐剤		プレピタン											
	その他前投薬	☑不要 □	必要に応じ	て、	. ¬	ドキ	サ	メ	メゾ	ン8	mg/	′dayを使	用	
	経口抗がん剤併用薬													
	フィルター	□インラインフィルターを使用する												
	備考													

## <投与期間>

3週間で1クール

### <備考欄>

投与前のCcrが30mL/min未満 → 投与禁忌

投与開始前のCcrが30~50mL/min → 75%用量

投与開始前のCcrが51~80mL/min → 減量の必要なし

#### Eribulin単独療法

<対象疾患>手術不能または再発乳がん

### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投	与ス	ケジ	ュー	ル		
	关 別 石	ひ 予里	点滴時間	1	•	٠	8	•	•	15	•	•	21		
1	生理食塩液	50mL	点滴静注				ı								
			30分	<b>→</b>			↓								
2	生理食塩液	100mL	点滴静注												
	ハラヴェン	1.4mg/m2	5分	1			↓								
3	生理食塩液	50mL	全開	ı											
<b>3</b>			flash用	<b>→</b>			↓								
	内服制吐剤	☑必要なし	□必要												
	その他前投薬		必要												
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する													
	備考														

# <投与期間>

3週間で1クール

### <備考欄>

下記の基準を満たさない場合、投与を延期する

好中球数≥1,000 血小板数≥75,000 非血液毒性:Grade2以下

減量の日安

減量段階	通常投与量	1段階減量	2段階減量
投与量	1.4mg/m2	1.1 mg/m2	0.7mg/m2

腎機能低下症例に対する減量の目安

11 1000100100100100100100100100100100100		
Ccr	>50	15~49
投与量	1.4mg/m2	1.1mg/m2

<b>計機能低下症例に</b> 対	対する減量の目安
Child_Duah公籍	ᇈᇊᆖ

Child-Pugh分類	投与量
Α	1.1mg/m2
В	0.7mg/m2
Child-Pugh分類	使用経験なし

# Lapatinib+Capecitabine単独療法

# <対象疾患>転移,再発症例

# <治療レジメン>

	薬剤名	体表面積	投与量						投.	与ス	ケジ	ュー	ル	
	※ 削石	<b>冲</b>	1	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	
		1.36m2未満	1200mg/回											
1	カペシタビン	1.36m2-1.66 m2	1500mg/回	•							<b>→</b>	休	薬	
		1.66-1.96m2	1800mg/回	İ										
		1.96m2以上	2100mg/回											
2	タイケルブ	1250mg	2100mg/回										•	
	内服制吐剤	☑不要 □フ	アプレピタン	<u> </u>	プ1	セル	√3 E	3分	·内肌	Ž				
	その他前投薬	☑不要												
	経口抗がん剤併用薬													
	フィルター	□インライン	フィルターを	使	用。	する	)							
	備考													

<投与期間>

3週間で1クール

# <備考欄>

Capecitabine減量の目安

10	]用量
減量段階1	減量段階2
000	
adonig	600mg
1,200mg	
	900mg
1 500mg	Jooning
1,500mg	
	減量段階1 900mg

1.301112以上					
Capecitabine:有害事象発現時の	の休薬減量の規定		治療再開	寺の投与量	
重症度	カペシタビン投与	1回目	2回目	3回目	4回目
Grade2	休薬最大14日間、 Grade1以下に回復後、	減量不要 減量段階1	減量段階1		投与中止
Grade3	右の基準に従う	減量段階1	減量段階2		
Grade4		減量	、継続、再開	は事象ごとに	判断
Capecitabine:血液検査以上発理	見時の休薬・減量の規定				
500/mm3≦neu<1000/mm3		1回目	2回目	3回目	4回目
25000≦Pt<75000mm3 6.5g/dL≦Hb<9.0g/dL 1.5mg/dL <cre≦6×uln Ccr&lt;40mL/min</cre≦6×uln 	休薬最大14日間、 Grade1以下に回復後、 右の基準に従う	減量不要 減量段階1	減量段階1	減量段階2	投与中止
Grade4		減量	、継続、再開	は事象ごとに	判断
Lapatinib:有害事象発現時の休			治療再開	寺の投与量	
重症度	投与	1回目	2回目	3回目	4回目
Grade2	継続	減量	不要	減量不要又は減量 1000mg/day	減量 1000mg/day
Grade3	休薬、最大14日間	減量る	下要又は減量	1000mg/day7	で再開
Grade4		減量	、継続、再開	は事象ごとに	判断
Lapatinib:有害事象発現時の休	薬減量の規定		治療再開	寺の投与量	
重症度	投与	1回目	2回目	3回目	4回目
500/mm3≦neu<1000/mm3 25000≦Pt<75000mm3 6.5g/dL≦Hb<9.0g/dL 1.5mg/dL <cre≦6 uln<br="" ×="">Ccr&lt;40mL/min</cre≦6>	休薬、最大14日間	減量不要	減量不要又 は減量 1000mg/da y	減量不要又 は減量 1000mg/day	投与中止
Neu < 500mm3, Pt < 25,000mm3, Hb < 6.5g/dL, Cre < 6 × ULN		減量、	判断		

### Palbociclib+Fulvestrant療法

<対象疾患>ホルモン受容体陽性かつHER2院生の手術不能または再発乳がん

### く治療レジメン>

	薬剤名	用法	投与量						投.	与ス	ケジ	ュー	ル				
	<b>采</b> 則石	用法	ひ サ里	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	24		26	28
	イブランスカプセル	1日1回内服	1回125mg	•									<b>*</b>		休	薬	
2	フェソロデックス筋注	筋肉注射	500mg	•							•*						
	内服制吐剤	☑不要															
	その他前投薬	☑不要															
	フィルター																
	備考	*1コース目のみ実施															

### <投与期間>

# 4週間で1クール

#### 減量基準

減量段階	Palbociclib投与量
第一段階	1回100mgを1日1回
第二段階	1回75mgを1日1回

#### Abemaciclib+Fulvestrant療法

<対象疾患>ホルモン受容体陽性かつHER2院生の手術不能または再発乳がん

#### く治療レジメン>

	75アンノ																
	薬剤名	用法	投与量						投.	<u>与ス</u>	<u>ケジ</u>	ュー	ル				
	<b>米</b> 則石	用压	1女子里	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	24	25	26	28
1	ベージニオ	1日2回内服	1回250mg														<b>→</b>
2	フェソロデックス筋注	筋肉注射	500mg								•*						
	内服制吐剤	☑不要															
	その他前投薬	☑不要															
	フィルター																
	備考	*1コース目のみ実施															

# <投与期間>

#### 4週間で1クール

減量段階	Abemaciclib投与量
第一段階	1回100mgを1日2回
第二段階	1回50mgを1日2回

### Fulvestrant療法

<対象疾患>ホルモン受容体陽性かつHER2院生の手術不能または再発乳がん

#### く治療レジメン>

	薬剤名	用法	投与量						投.	与ス	ケジ	ュー	ル				
	关 別 石	用压	1女子里	1	2	3	8	9	10	14	15	16	21	24	25	26	28
1	フェソロデックス筋注	筋肉注射	500mg								•*						
	内服制吐剤	☑不要															
	その他前投薬	□不要 ☑:	必要に応じ	て、	. <del>-</del> -	<u>"</u> +	サ	メ!	タゾ	ン8	mg/	day	を使	用			
	フィルター	<u> </u>															
	備考	*1コース目のみ実施															

<投与期間>

4週間で1クール

### Trastuzumab単独療法

# <対象疾患>転位・再発症例

# <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス・	ケジュール		
	<b>采</b> 用石	权子里	点滴時間	1	2	3	4	5	6	7			
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	_									
Û			15分	•									
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	_									
2	トラスツズマブ	4mg/kg*	90分*	<b>→</b>									
3	生理食塩液	50mL	全開	_									
<b>3</b>			flash用	<b>→</b>									
	内服制吐剤	☑必要なし	口必要なし										
	その他前投薬		□必要										
	フィルター		インフィルターを使用する										
	備考	*2回目以降	は2mg/kg <sup>-</sup>	で、	30	分,	点活	で	も可	能			

<投与期間> 1週間で1クール

# Trastuzumab単独療法

<対象疾患>転位:再発症例

<治療レジメン>

	11次レフィン /															
	—————————————————————————————————————	投与量 投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル			
	<b>米</b> 則石	10000000000000000000000000000000000000	点滴時間	1	2	3	4	5	6	7	8	15	16	18	20	21
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	1												
Û			15分	•												
2	生理食塩液	100mL	点滴静注	1												
<b>(2</b> )	トラスツズマブ	8mg/kg*	90分*	<b>↓</b>												
3	生理食塩液	50mL	全開	···												
<b>3</b>			flash用	<b>→</b>												
	内服制吐剤	☑必要なし	口必要なし						·							
	その他前投薬		. 21 —:221													
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する														
	備考	*2回目以降は6mg/kgで30分点滴でも可能														

<投与期間> 3週間で1クール

# weekly nab-PTX単独療法

<対象疾患>術前術後化学療法、転移再発症例

# <治療レジメン>

	<u> </u>	投与量	投与方法						投	与ス	ケジ	ュー	ル	
	<b>米</b> 則石	<b>投</b> 于里	点滴時間	1	2	3	7	8	9	14	15	16	21	
1	生理食塩液	100mL	点滴静注	_				_						
Û	デキサート注3.3mg	2A	30分	<b>*</b>				<b>V</b>			•			
2	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注	_							1			
2	アブラキサン	100mg/m2	30分	<b>1</b>				1			<b>*</b>			
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	1				п			lı			
3			15分	<b>1</b>				1			↓			
	内服制吐剤	☑不要 □必	必要											
	その他前投薬		必要											
	フィルター	☑インラインフィルターを使用しない												
	経口抗がん剤併用薬													
	備考													

<投与期間>

3週間で1クール

weeklyPTX+Trastuzumab療法 <対象疾患>HER2陽性の手術不能または再発乳癌

# <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法						投.	与ス	ケジ	ュー	ル				
	<b>米</b> 則石	1女子里	点滴時間	1	2	3	7	8	10	15	16	17	21	23	25	27	28
(1)	生理食塩液	50mL	点滴静注	_				_					_				
Û			15分	<b>→</b>				1		<b>→</b>			\				
2	生理食塩液	50mL	点滴静注	1													
2	トラスツズマブ	4mg/kg	90分	<b>→</b>													Ш
2	生理食塩液	50mL	点滴静注					п		1			1				
2	トラスツズマブ	2mg/kg	90分*					<b>1</b>		•			•				
_	生理食塩液	50mL	点滴静注														
3	デキサート注3.3mg	2A	15分	$\downarrow$				$\downarrow$		$\downarrow$							
	ファモチジン静注用20mg	1A															
4	生理食塩液	100mL	点滴静注	ı				п		1							
•			30分	*				•		•							Ш
<b>⑤</b>	5%ブドウ糖注射液	250mL	点滴静注	lı				п		1							
•	タキソール	80mg/m2	60分	*				•		•							
<b>6</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	L									1				
•			15分	*				*		•			↓				
		☑必要															
	内服制吐剤	☑③点滴中	にレスタミン	錠:	錠	内原	艮										
	その他前投薬	☑不要 □娰															
	フィルター	☑インライン	フィルターを	·使	用。	する	)										
	経口抗がん剤併用薬																
	備考	*2回目以降	は30分でもす	可自	Ė												

<投与期間> 4週間で1クール

### CHOP療法 NEW

# <対象疾患>びまん性大細胞型B細胞リンパ腫

### <治療レジメン>

	薬剤名	投与量	投与方法	投与スケジュール													
	※ 別石	<b>投</b> 分里	点滴時間	1	2	3	4	8	9	14	15	16	21	23	25	27	28
1	パロノセトロン	50mL	点滴静注														
$\Box$	デキサート注3.3mg	3A	30分	•													
2	生理食塩液	50mL	点滴静注	$\Box$													
	オンコビン	1.4mg/m2	5分	•													
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	ıL													
9	ドキソルビシン	50mg/m2	30分	<b>→</b>													
4	生理食塩液	50mL	点滴静注	↓-													
•	エンドキサン	750mg/m2	120分 *														
<b>4</b>	生理食塩液	50mL	点滴静注	ī													
•			5分	•													
	内服制吐剤	□不要 ☑day2~5にデキサメタゾン錠8mgを経口投与															
	その他前投薬	□不要 ☑必要に応じて、プレドニゾロン錠100mgをday1~4に投薬															
	経口抗がん剤併用薬																
	フィルター	☑インラインフィルターを使用する															
	備考		•														

<投与期間> 4週間で1クール

# <備考欄>

CPA: 腎機能低下症例に対する減料の目安

GFR(mL/min)	10>
	25%減量
CPA: 肝機能低下症例に対する	減量の目安
T∼Bil(mg/dL) or AST	投与量
3.1 <b>~</b> 5.0 or >3 × ULN	25%減量
> 5.0	中止

VCR

最大投与量2mg/day VCR: 肝機能低下症例に対する減量の目安

VON DIDERNI	
T~Bil(mg/dL)	投与量
1.5~ 3.0	50%減量
>3.1	中止

アントラサイクリン系の総投与量「が500mg/m2 DXR: 肝機能低下症例に対する減量の月安

	<u> </u>
T-Bil(mg/dL) or AST	DXR投与量
1.5~3.0 or 60~180	50%減量
3.1∼5.0 or >180	75%減量
>5.0	投与すべきではない

レジメン名	薬品名	投与量	投与日 0週   2週							
レミケート・療法	レミケート(点滴静注)	3mg/kg	2週   7週   14 <u>週</u>   以後8週間隔   初回投与後、2週、6週に投与。以後8週間隔   初回投与後、2週、6週に投与。以後8週間隔   14 <u>週</u>   14 <u>0</u>   16 <u>0</u>   14 <u>0</u>							
レジメン名	薬品名	投与量	投与日							
ヒュミラ療法	ヒュミラ(皮下注)	40mg	2週間に1回							
レジメン名	薬品名	投与量 患者体重:投与量	投与日							
オレンシア療法	オレンシア(点滴静注)	60kg> :500mg 60kg≤、100kg≥: 750mg	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●							
		100kg< :1g	初回投与後、2週、4週に投与。以後4週間隔							
レジメン名	薬品名	投与量	投与日							
オレンシア療法	オレンシア(皮下注)	125mg	1週間に1回							
レジメン名	薬品名	投与量	投与日							
エンブレル療法	エンフ゛レル (エタネルセフ゜ト)	10∼25mg	1日1回、週に2回							
(エタネルセプト)		25∼50mg	1日1回、週に1回							
レジメン名	薬品名	 投与量	投与日							
D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	未四つ	MTX併用	(スプロ							
シンホ゜ニー療法	シンポニー(皮下注)	50mg MTX併用なし 100mg	4週(こ1回							

レジメン名	薬品	品名	投与量	投与日								
ケブザラ療法	ケフ゛サ゛ラ(	皮下注)	200mg	2週間隔で投与								
レジメン名	薬品	品名	投与量	投与日								
シムジア療法	シムジア(	皮下注)	初回·2週後·4週 400mg 以後200mg	0週     2週     4週     6週       ●     ●     ●     ●     U後1回200mgを2週間隔       400mg     400mg     200mg       1回400mgを初回、2週、4週に投与。以後1回200mgを2週間隔								
レジメン名	レジメン名薬品名			投与日								
マカニノニ(表)ナ	マカニノニ	点滴静注	8mg/kg	4週間隔で投与								
アクテムラ療法	アクテムラ	皮下注	162mg	2週間隔で投与								
レジメン名		品名	投与量									
lizumab+CBDCA+PEM療法		ツ錠5mg	1回1錠	1回5mg1日2回内服								
バリシチニブ療法	オルミェント錠2mg 1回1錠			1回2mg1日1回内服								
ペフィシチニブ療法	スマイラフ錠100mg 1回1錠			1回100mg1日1回内服								
ウパダシチニブ療法	リンウ゛ォック	7錠15mg	1回1錠	1回15mg1日1回内服(場合によっては1回7.5mgに減量)								
レジメン名		 品名	 投与量	投与日								
ナノゾラ療法 NEW オゾラリズマ (皮下注)			MTX併用なし 30mg	4週に1回								